

一般講演

口頭発表プログラム

- 口頭発表は質疑応答と交代の時間を含めて 15 分です。時間に沿った進行のため、12 分の発表と 2 分 30 秒の質疑応答をお願いします。
- 発表者ツールは画面共有失敗の原因になりやすいので極力使用をお控えください。どうしても使用したい場合はセッション前の試写で必ずご確認ください。

オンライン発表の方

- 本年会では接続確認は行いません。
- 発表の順番になりましたら、Zoom の「画面共有」で発表用ファイルを選択し、ミュートを解除して発表を行ってください。ビデオは ON でお願いします。

座長の方

- 座長を担当する方々で、あらかじめ連絡をとって分担する演題を決めておいてください。
- 座長一覧は、口頭発表プログラムの後にあります。

● 第1日 3月17日(日) 午前(9:30-12:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	環境応答/A生理反応	オルガネラ/細胞骨格	新技術開発
09:30	<p>1aA01 シアノバクテリアからのトリアシルグリセロールの単離と化学的同定および蓄積条件の解明 佐藤直樹¹, 神保晴彦², 吉富徹², 高野耕司³, 岡咲洋三^{3,4}, 庄司翼^{3,5}, 斎藤和季³, 和田元¹(¹東京大・総合文化, ²物質・材料研究機構, ³理研CSRS, ⁴三重大・生産資源, ⁵富山大・和漢医薬学)</p>	<p>1aB01 シロイヌナズナ水分屈性におけるアクチン重合-脱重合の役割の生理学的解析 秋田幸太郎¹, 宮沢豊²(¹山形大学大学院理工学研究所, ²山形大学理学部)</p>	<p>1aC01 発熱性を持つ裸子植物ソテツ (<i>Cycas revoluta</i>) 雄花由来ミトコンドリアを用いた比較プロテオーム解析 松岡史花¹, 久松萌々香¹, 元木美南海¹, 水野冬惟¹, 佐藤光彦², 稲葉丈人¹, 稲葉靖子^{1,3}(¹宮崎大・農, ²かずさDNA研, ³東北大院・生命)</p>	<p>1aD01 CRISPR/Cas9 によるシロイヌナズナ細胞膜 H⁺-ATPase の発現制御と表現型解析 Ming Ding, 木下悟, 林優紀, 木下俊則(名古屋大・院理)</p>
09:45	<p>1aA02 オイル高蓄積珪藻 <i>Fistulifera solaris</i> の光合成生産環境応答 山本遥香¹, 嶋川銀河¹, 田中剛², 西村恭彦³, 松田祐介¹(¹関西学院大学・生命環境学部, ²東京農工大学大学院・工学研究院, ³電源開発株式会社・バイオ・環境技術研究グループ)</p>	<p>1aB02 ㊦ Evaluation of phenotypic diversity and genome-wide association analysis for nutrient use in rice lateral roots Md. Nashir Uddin¹, Daria Górecka², Aleksandra Zborowska², Kiyoshi Yamazaki¹, Ohmori Yoshihiro⁴, Toru Fujiwara¹(¹Grad. Sch. Agri. & Life Sci., Tokyo Univ. Yayoi, Bunkyo, Tokyo 113-8657, Japan, ²Fac. Biotech. & Hort., Krakow Agri. Univ., 31-425 Krakow, Poland)</p>	<p>1aC02 プラスチックシグナル伝達因子 GUN1 タンパク質の発現及び精製と抗体作製 Roselyn May Ching Yeow¹, 柿崎智博², 稲葉靖子^{1,3}, 稲葉丈人¹(¹宮崎大・農, ²農研機構・野花研, ³東北大院・生命)</p>	<p>1aD02 <i>Campylobacter jejuni</i> 由来の CjCas9 と enCjCas9 によるゲノム編集 山中直至¹, 清水木乃葉¹, 高橋美優¹, 坂本遼嘉¹, 遠藤真咲², 中川綾哉³, 小林拓平¹, 瀧木理³, 土岐精一^{2,4,5,6}, 賀屋秀隆¹(¹愛媛大学 農学部, ²国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 先進作物ゲノム改変ユニット, ³東京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻, ⁴龍谷大学 農学部, ⁵横浜市大 生命ナノ, ⁶横浜市大 木原生研)</p>
10:00	<p>1aA03 海洋性珪藻 <i>Phaeodactylum tricornutum</i> のピレノイド局在 β 炭酸脱水酵素の機能解析 米原朋彦, Nawaly Hermanus, 嶋川銀河, 松田祐介(関西学院大学生命環境学部)</p>	<p>1aB03 TILLER ANGLE CONTROL1 による側枝伸長角度の制御機構 川本望, 西村岳志, 森田美代(基礎生物学研究所)</p>	<p>1aC03 シロイヌナズナ CRL タンパク質は TOC75-V/OEP80 タンパク質複合体形成に関与する 吉村亮¹, 南河駿¹, 鈴木孝征², 後藤孝太郎¹, David Latrasse^{3,4}, Sanchari Sica^{3,4}, Cécile Raynaud^{3,4}, Moussa Benhamed^{3,4,5}, 吉岡泰¹(¹名大・院理学, ²中部大・応用生物, ³Inst. Plant Sci. Paris-Saclay, Univ. Paris-Saclay, ⁴Inst. Plant Sci. Paris-Saclay, Univ. Paris, ⁵Inst. Univ. France)</p>	<p>1aD03 ㊦ Targeted A-to-G Base Editing in the organellar genomes of <i>Arabidopsis thaliana</i> with Monomeric programmable deaminases Chang Zhou¹, Mirai Okuno², Issei Nakazato¹, Nobuhiro Tsutsumi¹, Shin-ichi Arimura¹(¹Laboratory of Plant Molecular Genetics, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Tokyo, ²Division of Microbiology, Department of Infectious Medicine, Kurume University School of Medicine)</p>
10:15	<p>1aA04 珪藻細胞質局在 θ 型炭酸脱水酵素の機能解析 大澤敦喜, 永田和也, 嶋川銀河, 松田祐介(関西学院大学・生命環境学部)</p>	<p>1aB04 食虫植物モウセンゴケ触毛におけるカルシウム波動の解析 瀬上紹嗣^{1,2}, Peng Chen², 近藤真紀¹, 大井祥子¹, 須田啓³, 豊田正嗣³, 長谷部光泰^{1,2}(¹基生研・生物進化, ²総研大・基礎生物, ³埼玉大・院理工)</p>	<p>1aC04 ゼニゴケ CHLH 遺伝子の変異は PPO 阻害除草剤耐性を付与する 北園理社¹, 小牧知史¹, 酒井友希¹, 加藤大貴^{1,2}, 近藤倫貴¹, 深城英弘¹, 石崎公庸¹(¹神戸大・院・理, ²愛媛大・院・理工)</p>	<p>1aD04 ユニークな PAM 配列を認識する AalCas9 は植物においてゲノム編集活性を示す 長谷川玲花¹, 中村彰良², 菅野茂夫², 山本宏², 矢野翼¹, 牧野洋一³, 伊藤誠一郎³, 光田展隆², 寺川輝彦²(¹株)インプラントイノベーションズ, ²産総研・生物プロセス, ³TOPPAN(株))</p>
10:30	<p>1aA05 海洋性珪藻 <i>Thalassiosira pseudonana</i> のチラロイド型重炭酸輸送体候補 TpBST の機能解析 山下温大, 仁岸みのり, 天野凌輔, 嶋川銀河, 松田祐介(関西学院大学・生命環境学部)</p>	<p>1aB05 ハエトリソウの接触誘導性電気シグナルの分子機構 浅川裕起¹, 須田啓¹, 大井祥子², 瀬上紹嗣^{2,3}, 長谷部光泰^{2,3}, 豊田正嗣^{1,4,5,6}(¹埼玉大・院理工, ²基生研・生物進化, ³総研大・院・生命科学, ⁴SunRISE・サントリー生命科学財団, ⁵ウィスコンシン大学(マディソン校)植物学部, ⁶華中農業大・植物科学技術学院)</p>	<p>1aC05 葉緑体膜脂質である DGDG と SQDG の機能的相補関係 倉谷美穂¹, 吉原晶子², 小林啓子³, 永田典子³, 小林康一²(¹大阪府大・理学, ²大阪公大・院・理学, ³日本女子大・理学)</p>	<p>1aD05 CRISPR/Cas9 を用いたシロイヌナズナにおける遺伝子ターゲティング効率を sgRNA に依存する 三木大介(中国科学院)</p>
10:45	<p>1aA06 海洋性珪藻における細胞内ローカル pH のマッピング 嶋川銀河, 屋代愛美, 松田祐介(関学大・生命)</p>	<p>1aB06 高窒素に応答した側根間隔の制御に関わるシロイヌナズナ sORF LOHNI の機能解析 園田智也¹, 伊藤和洋¹, 後藤千恵子², 深城英弘², 花田耕介³, 射場厚¹, 楠見健介¹(¹九州大・院・理, ²神戸大・院・理, ³九工大・生命情報工学)</p>	<p>1aC06 プラスチックシグナル伝達因子 BPG4 による葉緑体恒常性維持メカニズムの解明 立花諒¹, 阿部晋^{2,3}, 丸上萌々^{2,3}, 山上あゆみ¹, 明間莉乃¹, 大橋隆生¹, 西田快世¹, 野崎翔平⁴, 宮川拓也¹, 田之倉優⁵, Kim Jong-Myong^{3,5,6}, 関原明³, 稲葉丈人⁷, 松井南³, 伊福健太郎⁸, 久城哲夫², 浅見忠男³, 中野雄司¹(¹京大・院生命科学, ²明治大・院農, ³理研・CSRS, ⁴筑波大・院生命環境, ⁵東大・院農学生命, ⁶アクプランタ株式会社, ⁷宮崎大・農, ⁸京大・院農)</p>	<p>1aD06 CRISPR-Cas を用いたシロイヌナズナ <i>NCED3</i> 遺伝子発現制御ツールの構築 後藤空吾¹, 城所聡¹, 刑部敬史², 刑部祐里子¹(¹東工大・生命理工, ²徳島大院・社会産業理工)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
システム生物学	環境応答B/環境ストレス	一次代謝	発生・形態形成				
<p>1aE01 ロングリードシークエンサーによる植物ゲノム解析とそのデータ駆動型ゲノム育種への応用 田村啓太¹, 坊農秀雅^{1,2}(広島大・ゲノム編集イノベーションセンター, ²広島大・院統合生命)</p>	<p>1aF01 植物における細胞内フラビンレベルと環境ストレス応答の関連性 杉井天真, 丸田隆典, 石川孝博, 小川貴央(島根大院・自然科学)</p>	<p>1aG01 ラン藻 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 における強光で促進される膜脂質の脱アシル化に与するリパーゼ 高谷信之¹, 上之園誠², 妹尾勇弥³, 池田和貴³, 小俣達男¹, 愛知真木子¹(¹中部大・応用生物, ²名大・院・生命農, ³かずさDNA研・ゲノム事業)</p>	<p>1aH01 幹細胞因子 MpLAXR の発現パターンから見るゼニゴケ二又分枝の解析 金井雄星¹, 灰庭瑛実², 岩木彩², 石田咲子^{2,3}, 河内孝之², 西浜竜一¹(¹東理大・創域理工・生命生物, ²京都大・院・生命科学, ³奈良先端大・先端科学技術)</p>	シンポジウムS01 気孔応答研究の最前線ー分子から個体までー (9:30-12:30)	シンポジウムS02 植物と大気環境の相互作用ー原子から生態系までを観る・測る・繋ぐ (9:30-12:30)	シンポジウムS03 Unveil the enigma of plant actuators: exploring molecular and evolutionary mechanisms and engineering applications (9:30-12:10)	09:30
<p>1aE02 <i>Nicotiana benthamiana</i> ゲノムとトランスクリプトームの包括的解析プラットフォームの構築 黒谷賢一¹, 平川英樹², 白澤健太², 田桐昌弥³, 森萌恵³, 市橋泰範⁴, 鈴木孝征⁵, 谷澤靖洋⁶, 中村保一⁶, 磯部祥子², 野田口理孝^{1,7}(¹名古屋大・生物機能開発利用研究センター, ²かずさDNA研究所, ³名古屋大・院生命農学, ⁴理研・バイオリソース研究センター, ⁵中部大・応用生物, ⁶国立遺伝学研究所, ⁷京都大・理)</p>	<p>1aF02 ダイズの硫酸欠乏応答遺伝子の機能解析 家田愛葉, 小牧伸一郎, 峠隆之, 渡邊むつみ(奈良先端大・先端科学技術)</p>	<p>1aG02 シアノバクテリア <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 におけるリパーゼ過剰発現による遊離脂肪酸生産 古島翼¹, 門脇大朗¹, 松崎雄代¹, 山本哲史², 高谷信之³, 愛知真木子³, 池田和貴⁴, 小俣達男³, 西山佳孝¹(¹埼玉大・院・理工, ²大成建設, ³中部大・応用生物, ⁴かずさDNA研究所)</p>	<p>1aH02 ㊦ Analysis of gene expression patterns in the stem cell zone in <i>Marchantia polymorpha</i> Go Takahashi¹, Ryuichi Nishihama², Tomohiro Kiyosue¹, Yuki Hirakawa¹(¹Grad. Sch. Sci., Gakushuin Univ., ²Dept. Appl. Biol. Sci., Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.)</p>				09:45
<p>1aE03 多様な植物生理機能に関わる化合物の大規模同定にむけた段階的ケミカルトランスクリプトミクス 李河映¹, 森山奈津美¹, 佐藤綾人², 永野惇^{1,3}(¹龍谷大学・農学部, ²トランスフォーマティブ生命分子研究所, 名古屋大学, ³慶應義塾大学先端生命科学研究所)</p>	<p>1aF03 グループC MAP キナーゼは MBD10 をリン酸化してシロイヌナズナのアブジン酸誘導の葉の老化を制御する 李揚旦¹, 神山佳明¹, 峯岸美有子¹, 田村由貴¹, 山下昂太¹, 片桐壮太郎¹, 高瀬絳奈乃¹, 大谷真彦², 東城僚², Gabrielle E. Rupp⁴, 鈴木孝征³, 川上直人², Scott C. Peck⁴, 梅澤泰史¹(¹農工大・院・BASE, ²明治大・農, ³中部大・応用生物, ⁴ミズーリ大学・生物化学科)</p>	<p>1aG03 シアノバクテリア <i>Synechocystis sp.</i> PCC 6803 の増殖に影響を及ぼすメチルグリオキサルシリンターゼ (SI0036) の機能 Kadeer Aikermanu¹, Dayarathne Kaushalya¹, 石川優真², 宮城敦子², 石川寿樹¹, 山口雅利¹, 真紀Kawai¹(¹埼玉大・院・理工, ²ハイインリッヒハイネ大・CEPLAS, ³山形大・農)</p>	<p>1aH03 ㊦ Genetic analysis of PBL in CLE peptide signaling in <i>Marchantia polymorpha</i> Go Takahashi¹, Yoshihito Shimizu², Erume Hasegawa², Tomohiro Kiyosue^{1,2}, Yuki Hirakawa^{1,2}(¹Grad. Sch. Sci., Gakushuin University, ²Dept. Life Sci., Gakushuin University)</p>				10:00
<p>1aE04 ㊦ Enhancing ATTED-II Database for Diverse Plant Species Research Takeshi Ohayashi (Tohoku Univ.)</p>	<p>1aF04 根端分裂組織のカドミウム応答および亜硫酸応答における SOG1, ANAC044, ANAC085 の役割の特異性 瀧口晋平, 山村有加, 菅谷翔, 佐藤正和, 大城有香, 中村亮介, 高根沢康一, 清野正子(北里大・薬)</p>	<p>1aG04 ㊦ Non-specific phospholipase C3 is involved in endoplasmic reticulum stress tolerance in Arabidopsis Hai Anh Ngo^{1,2}, Yuki Nakamura^{1,2,3}, Kazue Kanehara²(¹RIKEN Center for Sustainable Resource Science (CSRS), Yokohama, Japan, ²Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, ³Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan)</p>	<p>1aH04 ゼニゴケの細胞周期進行・分裂パターン制御における NOX/RBOH 由来の ROS の役割と下流の分子メカニズム 山下優音¹, 萩原雄樹¹, 橋本研志¹, 鈴木秀政², 西浜竜一¹, 朽津和幸¹(¹東京理科大・院・創域理工・生命生物科学, ²東北大・院・生命科学)</p>				10:15
<p>1aE05 網羅的な転写因子変異体コレクションの RNA-Seq 解析 八木宏樹¹, 永野惇^{2,3}(¹甲南大・院・自然科学, ²龍谷大・農, ³慶應大・IAB)</p>	<p>1aF05 乾燥ストレス応答に関わる新規膜タンパク質の機能解析 大谷晴香¹, 井上和奏¹, 鈴木健裕², 堂前直², 高橋史憲³(¹東京理科大・院・先進工, ²理研・CSRS, ³東京理科大・先進工)</p>	<p>1aG05 イネアンモニウム輸送体 1:2 とその負の調節キナーゼ ACTPK1 のアンモニウム依存的相互作用 早川俊彦, 星川正太郎(東北大・院農学)</p>	<p>1aH05 ヒメツリガネゴケにおいてサイトカインは多能性幹細胞を規定する 泰有輝¹, 大塚樹里¹, 日渡祐二², 植本悟史³, 経塚淳子¹(¹東北大・院・生命, ²宮城大・食産業学, ³北海道大・院・理学)</p>				10:30
<p>1aE06 ChIP-Seq および RNA-Seq データから DREAM 複合体の転写制御機構を探る 岩川秀和¹, 山本留衣¹, 野本友司¹, 鈴木孝征², 伊藤正樹¹(¹金沢大学・生命理工, ²中部大・院・応用生物)</p>	<p>1aF06 触媒的酸素酸化反応により合成した新規ピラゾール類縁体が誘導する塩ストレス感受性機構の解析 上田実^{1,2}, 高橋聡史^{1,2}, 石田順子^{1,2}, 山上あゆみ³, 中野雄司³, Florian Pünner^{4,5}, 赤壁麻依^{4,5}, 五月女宜裕^{4,5}, 袖岡幹子^{4,5}, 関原明^{1,2,6,7}(¹理研CSRS・植物ゲノム発現研究チーム, ²理研CPR・植物エビゲノム制御研究室, ³京都大・院・生命, ⁴理研CSRS・触媒・融合研究グループ, ⁵理研CPR・袖岡有機合成化学研究室, ⁶横浜市大・本原生研, ⁷埼玉大・院・理工)</p>	<p>1aG06 シロイヌナズナにおける硝酸イオン獲得とカリウムイオン獲得の相互作用メカニズムの解析 白田佑佐, 櫻庭康仁, 柳澤修一(東大院・農学生命, アグテック)</p>	<p>1aH06 ゼニゴケの硫酸化ペプチドホルモン MAPPY は葉状体の分岐を制御する 篠原秀文¹, 林陽子², 横井洗太¹, 松林嘉克²(¹福井県大・生物資源, ²名古屋大・院・理)</p>				10:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月17日(日) 午前(9:30-12:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	環境応答/生理反応	オルガネラ/細胞骨格	新技術開発
11:00	<p>1aA07 ㊦</p> <p>Excitation Energy Re-Distribution between PSII and PSI in Marine Diatom <i>Chaetoceros gracilis</i> with a Truncated PSI-FCPI Supercomplex Jian Xing, Minoru Kumazawa, Shoko Tsuji, Noriko Ishikawa, Kentaro Ifuku (Grad. Sch. Agri., Kyoto Univ.)</p>	<p>1aB07</p> <p>高濃度硫酸アンモニウム処理におけるシロイヌナズナの経時的トランスク립トーム解析 岩永廣子¹, 新井由紀², 藤原正幸², 蜂谷卓士³, 濱田隆宏¹(¹岡山理科大・生命科学,²ヤンマーホールディングス(株)・技術本部中央研究所,³鳥根大・総科七遺伝子)</p>	<p>1aC07</p> <p>暗所誘導型新規遺伝子 BGHs による黄化芽生えにおける緑化順応制御機構の解析 明園莉乃¹, 立花諒¹, 山上あゆみ¹, 田中亮一², 浅見忠男³, 中野雄司¹(¹京大・院生命科学,²北大・低温科学研究所,³東大・院農学生命)</p>	<p>1aD07</p> <p>生細胞で葉緑体デンブンを可視化するフルオレセイン染色 市川晋太郎^{1,2}, 坂田桃子¹, 大庭亨^{2,3}, 児玉豊^{1,2}(¹宇都宮大・バイオセンター,²宇都宮大院・地域創生,³宇都宮大・工)</p>
11:15	<p>1aA08</p> <p>紅藻と紅色系統二次共生藻における LHCI の多様化過程 熊沢輝¹, 長尾遼², 高林厚史³, 伊福健太郎¹(¹京大・院農,²静岡大・農,³北大・低温研)</p>	<p>1aB08</p> <p>条件的寄生植物コシオガマの寄生時および非寄生時における無機養分獲得経路 徳本勇圓¹, 稲葉尚子¹, 反田直之², 神谷岳洋³, 矢内純太³, 藤原徹², 吉田聡子¹(¹奈良先端大・バイオ,²東京大・院農学生命,³京都府大・院生命環境)</p>	<p>1aC08</p> <p>マルバツユクサ単離葉肉細胞とゼニゴケ表皮の葉緑体定位運動における CO₂ の影響 杉山太一^{1,3}, 寺島一郎^{2,3}(¹東工大・化生研・生物資源,²東大・院農 ISAS,³東大・院理・生物・植物生態)</p>	<p>1aD08</p> <p>レシオ解析用ポリマー型蛍光温度プローブを用いた植物細胞内温度イメージング法の確立 芝谷圓¹, 丸山裕生², 林見之³, 内山聖一⁴, 辻俊一², 稲田のりこ¹(¹大工大・院農学,²キリンHD(株)・キリン中央研,³甲子園大・栄養,⁴東京大・院薬学)</p>
11:30	<p>1aA09</p> <p>光化学系 I の低エネルギークロロフィルによる消光 秋本誠志¹, 松坂絃斗¹, 古谷実佑¹, 長尾遼², 松永恭子², 鞆達也⁴(¹神戸大院・理,²静岡大・農,³東理大・理,⁴東理大・教養教育)</p>	<p>1aB09</p> <p>根圏環境のアンモニウムが条件的寄生植物コシオガマの吸器形成を抑制する 稲葉尚子, Zhang Xiang, 吉田聡子(奈良先端大・バイオ)</p>	<p>1aC09 ㊦</p> <p>Novel Chloroplast Division Gene, Conserved Across Plant Lineage, Was Discovered Through CRISPR/Cas9 Genetic Screening In Moss <i>Physcomitrium patens</i> Elena Kozgunova^{1,2}(¹Nagoya University, Graduate School of Science, Department of Biological Science,²Nagoya University, Institute for Advanced Research)</p>	<p>1aD09 ㊦</p> <p>Development of chemically inducible protein heterodimerization (CID) in the plant: an additional molecular tool to build a synthetic biology platform Jekson Robertlee¹, Kotaro Nishiyama^{1,2}, Yutaro Shimizu¹, Shinya Hagihara¹(¹RIKEN RIKEN Center for Sustainable Resource Science (CSRS),²School of Agriculture, Meiji University)</p>
11:45	<p>1aA10</p> <p>原始緑藻であるオステロコッカスは緑色光によってステート遷移が引き起こされる 久保田真人¹, 金恩哲², 石井麻子², 小杉真貴子², 菅川純³(¹総合研究大学院大学・基礎生物学コース,²基礎生物学研究所)</p>	<p>1aB10</p> <p>イネユビキチンリガーゼ OsHRZ の鉄・亜鉛環境による活性と分解の制御 新川はるか, 室田明星, 小林高範(石川県大・生物資源工学)</p>	<p>1aC10</p> <p>裸子植物ドイツウヒからの葉緑体型ペプチドグリカン合成系遺伝子群の単離と機能解析 杉田弥生¹, Xiaofei Lin², 武智克彰³, 高野博嘉³(¹熊大・院自然科学教育,²内蒙古大・生命科学学院,³熊大・院先端科学)</p>	<p>1aD10</p> <p><i>in planta</i> から特定プロモーター上の転写複合体を単離する iChIP 法による新規 ABA 合成制御因子の単離 佐藤輝^{1,2}, 藤本聡³, 藤田美紀², 高橋史憲², 桑田啓子⁴, 松永幸大^{1,3}, 篠崎和子^{5,6}, 篠崎一雄²(¹東大・新領域,²理研・環境資源科学研究セ,³東理大・理工,⁴名大・ITbM,⁵東大・農学生命科学,⁶東京農大・農生命科学研)</p>
12:00	<p>1aA11</p> <p>77K における葉片のスピルオーバー測定:栽培光強度, ステート遷移, NPQ, b-less 変異, テラコイド形態の影響 寺島一郎¹, 厚沢季美江², 小口理一³, 金子康子⁴, 河野優⁵(¹東京大・生態調和農学機構,²埼玉大・科学分析支援センター,³大阪公立大・理学研究科・生物学専攻,⁴埼玉大・教育・自然科学,⁵神奈川大・理学・生物科学)</p>	<p>1aB11</p> <p>イネ生葉における細胞内のリン酸濃度の上昇は, mRNA の核外輸送を抑制する 高木大輔(摂南大学 農学部)</p>	<p>1aC11</p> <p>NOF1 は葉緑体核様体の分配を促進する 大谷直央¹, 池田彩乃¹, 廣門秀仁¹, 石橋幸大², 山野隆志³, 福澤秀哉³, 西村芳樹⁴, 小林優介¹(¹次大・理学,²京産大・生命科学,³京大・院生命,⁴京大・院理)</p>	
12:15		<p>1aB12</p> <p>好アルミニウム植物チャにおけるリン栄養のリサイクル能力の評価 小池圭太郎¹, 山下寛人^{1,2,3}, 一家崇志^{1,2,3,4}(¹岐阜連大,²静大農,³静大ITS,⁴静大グリーン研)</p>	<p>1aC12</p> <p>BUMPS 法で導入した葉緑体 DSB は速やかに除去される 川島愛音, 金澤晴樹, 鹿内利治, 西村芳樹(京大・院理学)</p>	

E会場	F会場	G会場	H会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
システム生物学	環境応答B/環境ストレス	一次代謝	発生・形態形成				
<p>1aE07 ㊦ Characterization of Tomato Fruit Ripening Transcription Factors via Comparative Omics Approach Hwa Eun Kim¹, Shinichiro Komaki¹, Mutsumi Watanabe¹, Alisdair R. Fernie², Takayuki Tonge¹ (1Grad. Sch. Sci., Tech., NAIST, 2MPI-MPP)</p> <p>1aE08 野外トランスクリプトーム解析による、オオムギ開花の新たな遺伝子制御機構の発見 金俊植^{1,2}, 井藤純³, 上原由紀子¹, 高萩航太郎³, 金谷麻加¹, 清水みなみ¹, 井上小楨¹, 岡田聡史^{2,4}, 松浦恭和², 服部公央亮⁵, 池田陽子², 最相大輔², 辻寛之^{3,4}, 平山隆志², 佐藤和広², 持田恵一^{1,2,3,6,7} (1理研・環境セ., 2岡大・植物研, 3横浜市大・木原研, 4名大・生物セ., 5中部大・工学, 6長崎大・情報学, 7理研・科技ハブ)</p> <p>1aE09 レドックスプロテオミクスを用いたシステイン残基の網羅的電位解析 田中謙也^{1,2,3}, 近藤昭彦^{1,3,4}, 蓮沼誠久^{1,3,4} (1神戸大・先端バイオ工研セ., 2阪大院・基礎工太陽エネ研セ., 3神戸大院・科技イノベ, 4理研・環境資源)</p> <p>1aE10 ゲーナ北部ボルタ川流域の低硫黄土壌におけるイネの分子応答の研究 圓山恭之進^{1,2}, 辻本泰弘¹, 櫻井哲也³, 坂井寛章⁴, 坂本真吾⁵, 光田展隆⁵ (1国際農研, 2筑波大・生命産業, 3高知大・複合領域科学, 4農研機構・分析研, 5産総研・生命プロセス)</p> <p>1aE11 イネの遺伝子発現量予測におけるサンプリング条件の影響解析 永壽暖¹, 前田太郎², 大久保智司², 鹿島誠³, 京極大助⁵, 橋田庸一⁶, 渡邊渡邊⁹, 安達俊輔¹⁰, 永野惇^{2,3,4} (1慶應大・環境情報, 2慶應大・IAB, 3龍谷大・食農研, 4龍谷大・農, 5ひとはく・生態, 6高健大・農, 7東北大・生命科学, 8東邦大・理学, 9玉川大・農, 10東京農工大)</p> <p>1aE12 【演題取り下げ】</p>	<p>1aF07 塩ストレスが CBL interacting protein kinase 26 に与える影響 浜田実奈¹, 堀凌輔¹, 西野耕平², 小迫英輝², 野澤彰¹, 澤崎達也¹ (1愛媛大学プロテオサイエンスセンター, 2徳島大学・先端酵素学研究所 藤井節郎記念医科学センター)</p> <p>1aF08 農業利用に向けたニラの低温馴化の基礎的研究 笠松勇登, 河村幸男 (岩手大学院・農学・植物生命)</p> <p>1aF09 水陸両生植物 <i>Hydrophila difformis</i> における葉の機能と構造の変化による水中への馴化 堀口元気¹, 溝上祐介¹, 廣津直樹², 野口航¹ (1東京薬科大・生命科学, 2東洋大・生命科学)</p> <p>1aF10 シロイヌナズナの MAP4K1 と MAP4K2 は Ca²⁺シグナルを介して ABA 誘導性気孔閉鎖を正に制御する 山下昂太¹, 大石杏¹, 高瀬奈乃¹, 片桐壮太郎¹, 李揚丹¹, 神山佳明¹, 山内翔太², 武宮淳史², 森泉³, 梅澤泰史¹ (1農工大・院・BASE, 2山口大学, 3岡山大学)</p> <p>1aF11 長期の乾燥条件下でリン酸化され蓄積する SnRK2 Substrate 1 が花成を促進する 片桐壮太郎¹, 神山佳明¹, 山下昂太¹, 青井勇輝², 高橋史憲³, 木下俊則⁴, 梅澤泰史¹ (1東京農工大学, 2INRAE, 3東京理科大学, 4名古屋大学)</p> <p>1aF12 塩ストレスにより表皮細胞特異的に誘導されるアントシアニンの蓄積には表皮葉緑体が必要である 小畑智穂, 立花輝太, 王丸将貴, 射場厚, 祐宜淳太郎 (九大・院・理)</p>	<p>1aG07 シロイヌナズナの貧窒素環境適応機構に関わる QTLs の探索 門田蓮奈¹, 馬淵敦士¹, 祐宜淳太郎¹, 井内聖², 小林正智², 野田口理孝^{3,4,5}, 筒井大貴^{3,6}, 阿部光知⁷, 櫻庭康仁⁸, 柳澤修一⁸, 射場厚¹ (1九州大・院・理, 2理研BRC, 3名大・院・生命農, 4名大・生物機能開発利用研究センター, 5京都大・院・理, 6沖縄科学技術大学院大学, 7東京大・院・総合文化, 8東京大・院・農学生命科学)</p> <p>1aG08 硝酸イオンは <i>Drosera rotundifolia</i> の不定芽形成を抑制する 伊藤新一郎¹, 岡本樹世², 吉岡有咲², 川村和輝², 高谷信之², 小俣達男², 愛知真木子² (1中部大・院・応用生物, 2中部大・応用生物)</p> <p>1aG09 ㊦ Functional analysis of two GARP-type transcription factors OsHHO3 and OsHHO4 in the regulation of nitrogen-deficiency response in rice Yuying Wu, Mailun Yang, Namie Ohtsuki, Yasuhiro Sakuraba, Shuichi Yanagisawa (Agro-Biotech. Res. Center, Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo)</p> <p>1aG10 窒素欠乏応答におけるマイクロ RNA タイナミクスの制御機構の解明 櫻庭康仁, 楊麥倫, 柳澤修一 (東大院, 農学生命学, アグテック)</p> <p>1aG11 ゼニゴケにおける硝酸応答機構の解析 大濱直彦¹, 石崎公庸², 林誠³, 柳澤修一¹ (1東大・院・農学生命科学・アグテック, 2神戸大・院・理, 3理研・環境資源科学研究センター)</p> <p>1aG12 低窒素環境での花成誘導と代謝制御に関わる転写因子 FBH4 の機能解析 眞木美鶴^{1,2}, 中尾果菜³, 久保見生⁴, 稲垣宗一⁵, 高木純平¹, 佐藤長緒¹ (1北大・院・理, 2北大・創成, 3北大・理, 4北大・院・生命, 5東大院・理)</p>	<p>1aH07 一過的サイトカイン応答は二次成長開始のプライミングシグナルとして機能する 島津舞治^{1,2}, 森秀世¹, 古谷朋之³, 小嶋美紀子⁴, 竹林裕美子⁴, 伊藤(大橋)恭子¹, 石崎公庸², 朝比奈雅志^{3,6}, 榎原均^{4,7}, 稲垣宗一¹, 角谷徹仁¹, 深城英弘², 福田裕徳⁸, 近藤佑貴² (1東大・院・理, 2神戸大・院・理, 3立命館大・生命, 4理研・CSRS, 5帝京大・理工・バイオ, 6帝京大・先端機器分析センター, 7名古屋大・院・生命農学, 8秋田県立大)</p> <p>1aH08 気孔発生を特異的に阻害するイミダゾロン化合物 Stomidazolone の同定 中川彩美¹, モハンセブルクリシュナ^{2,3}, シュージャンイン¹, セオヘミン^{2,3}, コフィンカルビン^{2,3}, 瀬川泰知⁴, 岩崎理恵¹, 加藤弘恵¹, キムステファニー³, 相原悠介^{1,5}, 木下俊則¹, 伊丹健一郎¹, ハンズキ^{1,6}, 村上慧^{1,5,7}, 鳥居啓子^{1,2,3} (1名古屋大学・ITbM, 2ハーワードヒューズ医学研究所, 3テキサス大学・オースティン校, 4分子科学研究所, 5JST さきがけ, 6名古屋大学・高等研究院, 7関西学院大学・理学部)</p> <p>1aH09 SMC5/6 複合体構成因子 HPY2//AtNSE2 による植物の形態形成制御 吉村美香, 石田番志 (熊本大・院・先端科学)</p> <p>1aH10 BZR/BES 転写因子の3つのサブグループの機能比較解析 古谷朋之¹, 野崎翔平^{2,3}, 近藤佑貴⁴, 笠原賢洋¹ (1立命館大・生命, 2筑波大・生命環境, 3筑波大・T-PIRC, 4神戸大・院・理)</p> <p>1aH11 一葉植物モノフィレアの特異的な分裂組織における細胞レベルの遺伝子発現解析 中村賢志, 古賀皓之, 木下綾華, 塚谷裕一 (東京大・院・理)</p> <p>1aH12 ㊦ A cell-based theory of tip growth and negative curvature formation: case study of <i>Triadica sebifera</i> and its generalization Zining Wang¹, Yasuhiro Inoue², Atsushi Mochizuki³, Hirokazu Tsukaya¹ (1Grad. Sch. Sci. Univ. Tokyo, 2Dept. Micro Eng., Kyoto Univ., 3Inst. Front. Life Med. Sci., Kyoto Univ.)</p>	シンポジウム S01 気孔応答研究の最前線ー分子から個体までー (9:30-12:30)	シンポジウム S02 植物と大気環境の相互作用ー原子から生態系までを観る・測る・繋ぐ (9:30-12:30)	シンポジウム S03 Unveil the enigma of plant actuators: exploring molecular and evolutionary mechanisms and engineering applications (9:30-12:10)	11:00 11:15 11:30 11:45 12:00 12:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月17日(日) 午後(14:00-17:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	環境応答A/生理反応	オルガネラ/細胞骨格	生殖
14:00	<p>1pA01 9種のクロロフィル<i>f</i>産生シアノバクテリアのPSI,PSII色素系の多様性と反応機構 伊藤繁¹, 北崎翔², 大野智輝², 山川壽伯¹, 宮下英明²(¹名大・院理物理, ²京大・人間環境)</p>	<p>1pB01 ㊦ Mechanosensitive channel genes of a stem parasitic plant, <i>Cuscuta campestris</i>, and their role in haustorium initiation Jihwan Park, Koh Aoki (Grad. Sch. Agric., Osaka Metro. Univ)</p>	<p>1pC01 CO₂濃縮オルガネラ「ピレノイド」の細胞分裂時における高解像度イメージング 松尾光治良, 山野隆志(京大・院・生命)</p>	<p>1pD01 ヒメツリガネゴケの雌の生殖器官の運命決定機構の解明 養老瑛美子¹, 佐藤遼平¹, 秋吉信宏¹, 鈴木誠也¹, 小藤崇美子², 榎原恵子¹(¹立教大・生命理, ²金沢大・生命理工)</p>
14:15	<p>1pA02 多色色素からなるアシドバクテリア <i>C. thermophilum</i> が持つI型反応中心の光捕集機構解析 下岡渉¹, 鬼頭宏任², 伊藤繁¹, 木村明洋¹(¹名大院理, ²近大理工)</p>	<p>1pB02 疑似太陽光LEDで栽培した <i>Arabidopsis thaliana</i>, <i>Lotus corniculatus</i>, Micro-Tom, <i>Nicotiana benthamiana</i> および <i>Brachypodium distachyon</i> の特性 古川一¹, 松川詠梅², 飯田哲司², 雄鼻一郎²(¹大阪公立大院・農学研究科, ²株日本医化器機製作所)</p>	<p>1pC02 脂質単層膜オルガネラの構造維持に関わる膜タンパク質の比較機能解析 中山隆司¹, 開琢海¹, 三輪幸祐¹, 廣森美樹¹, 黒岩風², 和氣駿之¹, 山下哲³, 山口晴彦⁴, 宮城ゆき乃⁴, 岩井雅子⁵, 太田啓之^{5,6}, 戸澤謙², 中山亭¹, 高橋征司¹(¹東北大・院・工, ²埼玉大・院・理工, ³金沢大・院・自然科学, ⁴住友ゴム工業(株), ⁵(株)ファイトリビット・テクノロジーズ, ⁶東工大・生命理工学院)</p>	<p>1pD02 雌性生殖器官形成を制御するヒメツリガネゴケ RKD 転写因子の発現制御機構の解明 秋吉信宏, 養老瑛美子, 鈴木誠也, 榎原恵子(立教大・生命理)</p>
14:30	<p>1pA03 緑藻 <i>Pyramimonas parkeae</i>, <i>Nephroselmis astigmatica</i> の光化学系I周辺集光アンテナの解析 魚尾辰砂^{1,2}, 高林厚史^{1,2}, 田中亮一^{1,2}(¹北大・低温研, ²北大・院環境)</p>	<p>1pB03 休眠覚醒過程におけるチャ側芽のトランスクリプトーム解析 大貫真弥¹, 川木純平², 永野惇^{3,4}, 一家崇志^{5,6,7}, 山下寛人^{5,6}(¹静大・院農, ²静岡県茶業研究センター, ³龍谷大・農, ⁴慶應義塾大学先端生命科学研究所, ⁵静大・農, ⁶静大・ティーサイエンス研, ⁷静大・グリーン研)</p>	<p>1pC03 シロイヌナズナとトマトのミオシン XI の細胞内における機能の多様性と保存性 小原悳¹, 鈴木友康¹, 原口武士², 伊藤光二², 野中聡子^{3,4}, 富永基樹^{1,5}(¹早稲田大・院・先進理工, ²千葉大・院・理・生物, ³筑波大・T-PIRC, ⁴筑波大・生命環境系, ⁵早稲田大・教育総合科学・生物)</p>	<p>1pD03 ㊦ Chromatin dynamics during fertilization of a liverwort, <i>Marchantia polymorpha</i> Tetsuya Hisanaga, Frederic Berger (Gregor Mendel Institute)</p>
14:45	<p>1pA04 クロロフィル蛍光定常レベルの光依存性により明らかになったシアノバクテリアのエネルギー散逸機構の特性 小川敬子¹, 高橋拓子¹, 西山佳孝¹, 日原由香子¹, 園池公毅²(¹埼玉大・院理工, ²早稲田大・教育)</p>	<p>1pB04 ㊦ Environmental regulation of shoot and root growth in <i>Poa annua</i> Louis J. Irving (Univ. Tsukuba, Life & Env. Sci)</p>	<p>1pC04 ゼニゴケミオシン XI の表現型および細胞内動態の観察による機能解析 内田悠哉¹, 金澤建彦^{2,3}, 小原悳¹, 黒田優斗¹, 上田貴志^{2,3}, 富永基樹^{1,4}(¹早稲田大・院・先進理工, ²基生研・細胞動態, ³先端学術院・総研大, ⁴早稲田大・教育総合科学・生物)</p>	<p>1pD04 ゼニゴケにおける EF-hand タンパク質遺伝子 MpCAPS の機能解析 森田瑞生¹, 大和勝幸²(¹近畿大院・生物理工学, ²近畿大・生物理工)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
植物生物間相互作用A	環境応答B/環境ストレス	一次代謝/特化(二次)代謝/植物ホルモン/シグナル伝達物質	発生・形態形成				
<p>1pE01 E Evolutionary Trajectory of Pattern Recognition Receptors in Plants Yasuhiro Kadota¹, Bruno Pok Man Ngou¹, Michele Wyler², Marc W. Schmid², Ken Shirasu¹ (¹RIKEN CSRS, ²MWSchmid GmbH)</p> <p>1pE02 E Does RALF-FER module control immunity in the liverwort <i>Marchantia polymorpha</i>? Yijia Yan, Katharina Melkonian, Titus Schlüter, Hirofumi Nakagami (Max Planck Institute for Plant Breeding Research)</p> <p>1pE03 ヒメツリガネゴケにおけるキチンシグナルを介した転写因子 CAMTA の機能解析 瀧津暁乃, 太治輝昭, 坂田洋一, 四井いずみ (東京農大・バイオ)</p> <p>1pE04 ヒメツリガネゴケにおけるオーキシンシグナルを介した免疫応答の解析 吉田美百合, 太治輝昭, 坂田洋一, 四井いずみ (東京農大・バイオ)</p>	<p>1pF01 シロイヌナズナにおける凍結と光がもたらす馴化メカニズムの解明 杉田健史¹, 高橋俊介², 上村松生^{1,2}, 河村幸男^{1,2} (¹岩手大学・院連合農学, ²岩手大学・院総合科学)</p> <p>1pF02 転写因子 SGR5 はシロイヌナズナの暗闇に対する気孔応答を媒介する 荒井直也^{1,2}, 木越景子¹, 森脇宏介¹, 宮下京子¹, 中野仁美¹, 藤原すみれ^{1,2} (¹産総研・生物プロセス, ²筑波大・院生物)</p> <p>1pF03 E 1-Butanol treatment enhances drought stress tolerance in <i>Arabidopsis thaliana</i> Thi Nhu Quynh Do^{1,2}, Daisuke Todaka¹, Maho Tanaka^{1,3}, Satoshi Takahashi^{1,3}, Junko Ishida^{1,3}, Kaori Sako^{1,4}, Atsushi J. Nagano^{5,6}, Xuan Hoi Pham², Motoaki Seki^{1,3,7,8} (¹Plant Genomic Network Research Team, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, ²Agricultural Genetics Institute, Vietnam Academy of Agriculture Sciences, ³Plant Epigenome Regulation Laboratory, RIKEN Cluster for Pioneering Research, ⁴Department of Advanced Bioscience, Faculty of Agriculture, Kindai University, ⁵Faculty of Agriculture, Ryukoku University, ⁶Institute for Advanced Biosciences, Keio University, ⁷Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University, ⁸Graduate School of Science and Engineering, Saitama University)</p> <p>1pF04 E Application of Ethanol Alleviates Heat Damage to Leaf Growth and Yield in Tomato Daisuke Todaka¹, Thi Nhu Quynh Do^{1,4}, Maho Tanaka^{1,2}, Yoshinori Utsumi¹, Chikako Utsumi¹, Akihiro Ezo¹, Satoshi Takahashi^{1,2}, Junko Ishida^{1,2}, Miyako Kusano^{5,6,7}, Makoto Kobayashi⁵, Kazuki Saito⁵, Atsushi J. Nagano^{8,9}, Yoshimi Nakano¹⁰, Nobutaka Mitsuda¹⁰, Sumire Fujiwara¹⁰, Motoaki Seki^{1,2,3,11} (¹Plant Genomic Network Research Team, CSRS, RIKEN, ²Plant Epigenome Regulation Laboratory, CPR, RIKEN, ³Kihara Institute for Biological Research, YCU, ⁴Agricultural Genetics Institute, Pham Van Dong Road, Bac Tu Liem District, ⁵Metabolomics Research Group, CSRS, RIKEN, ⁶Graduate School of Life and Environmental Sciences, Univ. of Tsukuba, ⁷Tsukuba Plant Innovation Research Center, Univ. of Tsukuba, ⁸Faculty of Agriculture, Ryukoku Univ., ⁹Institute for Advanced Biosciences, Keio Univ., ¹⁰Bioproduction Research Institute, AIST, ¹¹Graduate School of Science and Engineering, Saitama Univ.)</p>	<p>1pG01 “根無し”カズラの根の退化過程における代謝変動 浅園真理子¹, 多田部弘光², 飛内桃子¹, 横山俊哉¹, 平井雅美², 西谷和彦¹ (¹神奈川大・理, ²理研CNRS)</p> <p>1pG02 GWAS と QTL 解析を用いたイネの葉におけるシュウ酸蓄積因子の探索 宮城敦子¹, 田中伸裕², Matthew Shenton², 江花薫子³, 大久保智司^{4,5}, 安達俊輔⁴, 大川泰一郎⁴, 川合真紀⁶ (¹山形大・農, ²農研機構・作物, ³農研機構・遺伝資源, ⁴東京農工大・院農, ⁵東北大・院生命, ⁶埼玉大・院理工)</p> <p>1pG03 シロイヌナズナ <i>N²</i>-アセチルオルニチンデアセチラーゼの細胞質グルタチオン分解経路における Cys-Gly ジペプチダーゼとしての機能 伊藤岳洋^{1,2}, 宮地俊輔³, 北岩泰祐³, 西園巨祐³, 安掛真一郎⁴, 原田大希⁵, 馬橋美野里³, 青山華菜⁵, 佐藤心郎², 稲葉ジュン², 伏信進矢^{6,7}, 横山正^{8,9}, 丸山明子¹⁰, 平井優美^{2,11}, 大津(大鎌)直子^{4,8} (¹農工大・院連合農学, ²理研・環境資源科学, ³農工大・院・農, ⁴農工大・GIR, ⁵農工大・農, ⁶東大院・院農学生命科学, ⁷東大・CRIIM, ⁸農工大・院・院農学研究院, ⁹福島・農, ¹⁰九大院・農, ¹¹名大院・生命農学)</p> <p>1pG04 膜交通制御因子 MIN7/BEN1/BIG5 による植物の C/N ストレス応答制御機構の解析 遠藤海斗¹, 松井博輝², 眞木美帆^{3,4}, 高木純平³, 佐藤長緒³ (¹北大・院生命, ²北大・理, ³北大・院理, ⁴北大・創成)</p>	<p>1pH01 幹細胞らしさの抑制に関わる遺伝子の解析 榎木竜二¹, 池田陽子², 森仁志^{3,4}, 青柳優太⁵, 平川英樹⁵ (¹京大・院理・生物, ²岡山大・資源植物科学研, ³名大・院生命農, ⁴名大・糖鎖生命コア研究所, ⁵かずさDNA研究所)</p> <p>1pH02 メリステム維持に異常を示すシロイヌナズナ <i>aberrant meristem behavior1</i> 変異体における DNA 損傷応答の解析 村岡涼子, 間宮章仁, 近藤侑貴, 石崎公庸, 深城英弘 (神戸大・院・理)</p> <p>1pH03 側根形成に異常を示すシロイヌナズナ <i>lbd</i> 多重変異体を用いたカルス形成・シュート再生機構の解析 和田昂己¹, 間宮章仁¹, 郷達明², 近藤侑貴¹, 石崎公庸¹, 深城英弘¹ (¹神戸大・院・理, ²奈良先端大・バイオサイエンス)</p> <p>1pH04 維管束幹細胞の確立に関する新たな制御因子の探索と解析 前田照太¹, 島津舜治^{1,2}, 間宮章仁¹, 古谷朋之³, 深城英弘¹, 石崎公庸¹, 近藤侑貴¹ (¹神戸大・院・理, ²東大・院・理, ³立命館大・生命)</p>	シンポジウムの04	シンポジウムの05	シンポジウムの06	14:00
				Genetic transfer technology for plants and its associated sciences (14:00-17:00)	植物を操る新規分子を創る (14:00-17:00)	植物個体内の局所から全身の環境応答機構 (14:00-17:00)	14:15
							14:30
							14:45

E = 発表の言語は英語

● 第1日 3月17日(日) 午後(14:00-17:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	環境応答A/生理反応	オルガネラ/細胞骨格	生殖
15:00	<p>1pA05 シアノバクテリアにおける LexA 転写因子の生化学的解析 安藤葵¹, 久保寺遥¹, 鬼沢あゆみ², 日原由香子¹ (¹埼玉大院・理工, ²中央大・理工)</p>	<p>1pB05 X線 CT 立体構築像に基づくシロイヌナズナ葉柄運動の構造力学的解析 林真衣香¹, 園枝正^{1,2}, 熊谷凌¹, 春田牧人³, 大竹義人⁴, 加藤博一⁴, 鳥弘幸⁵, 出村拓^{1,2}(¹奈良先端大・バイオ, ²奈良先端大・CDG, ³千歳科技大・理工, ⁴奈良先端大・情報, ⁵山梨大・生命環境)</p>	<p>1pC05 シロイヌナズナ花茎のストレートニングに関わるミオシン XI 発現組織の解析 岡村さとこ¹, 三宅唯月², 梅村優那¹, 八木宏樹², 豊倉浩一³, 西村いくこ², 上田晴子^{1,2}(¹甲南大・理工, ²甲南大・院・自然科学, ³広島大・院・統合生命)</p>	<p>1pD05 MpGEX1 はゼニゴケの受精過程に必要である 西川周二¹, 永塚さくら², 山岡高平³, 南野尚紀⁴, 上田貴志^{5,6}(¹新潟大・理, ²新潟大・院・自然, ³京都大・院・生命, ⁴熊本大・院・自然, ⁵基生研, ⁶総研大・先端学術院)</p>
15:15	<p>1pA06 シアノバクテリアにおける紫外線照射時の SOS 応答の多様性 久保寺遥¹, 安藤葵¹, 鬼沢あゆみ², 日原由香子¹ (¹埼玉大院・理工, ²中央大・理工)</p>	<p>1pB06 リン酸化プロテオミクスによる気孔の CO₂ 情報伝達機構の解析 内橋海斗¹, 松林嘉克¹, 木下俊則^{1,2}, 高橋洋平²(¹名古屋大・院理, ²名古屋大・ITbM)</p>	<p>1pC06 転写調節されるアクチン重合が⁵根部道管における細胞壁パターンを切り替える 貴嶋紗久¹, 佐々木武馬², 近藤侑貴³, 稲垣宗一⁴, 山口雅利⁵, 小田祥久²(¹産総研・生物プロセス, ²名古屋大・院・理, ³神戸大・院・理, ⁴東京大・院・理, ⁵埼玉大・院・理工)</p>	<p>1pD06 ㊦ Dynamics of MYB98 Regulation: What Does the Discovery of <i>SaeM</i> Suggest? Prakash B. Adhikari¹, Nobutaka Mitsuda³, Xiaoyan Liu², Chen Huang², Shaowei Zhu², Michitaka Notaguchi¹, Ryushiro Kasahara¹ (¹Biotechnology and Bioscience Resource Center, Nagoya University, Japan, ²Fujian Agriculture and Forestry University, Fuzhou, China, ³National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))</p>
15:30	<p>1pA07 光応答性プロトン膜透過機構のシアノバクテリア細胞内 pH への影響 町田亮人¹, 越後茜¹, 近藤久益子^{1,2}, 久堀徹^{1,2,3}, 増田真二¹(¹東工大・生命理工学院, ²東工大・IIR・化学生命研, ³東工大・国際先駆研究機構)</p>	<p>1pB07 キャッサバ塊根形成は日長依存的に制御されている 内海好規¹, 内海雅佳子¹, 田中真帆^{1,2}, 江副見洋¹, 高橋聡史^{1,2}, サロメプラト³, 関原明^{1,2,4,5}(¹理研 CSRS, ²理研 CPR, ³CRAG, CSIC-IRTA-UAB-UB, ⁴横浜市立大学, ⁵埼玉大学)</p>	<p>1pC07 根の非根毛表皮細胞の活発な成長を駆動する分子メカニズム 高塚大知^{1,2}, 永田典子³, 梅田正明⁴(¹金沢大学・生命理工, ²JST・さきがけ, ³日本女子大・理学部, ⁴奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科)</p>	<p>1pD07 胚珠にある独立した2つの植物新組織, Gate-I, Gate-II の発見 Prakash B. Adhikari¹, 中島耕大^{2,3}, 刘晓燕⁴, 野田口理孝⁵, 笠原竜四郎¹(¹名古屋大学 生物機能開発利用センター, ²東京大学 大学院理学研究科, ³テクニオン, ⁴福建農林大学, ⁵京都大学 大学院理学研究科)</p>
15:45	<p>1pA08 DLDG1 に依存した葉緑体内 pH の制御は葉緑体遺伝子の発現制御に重要である 田上ひかる, 鈴木花実, 増田真二(東工大・生命理工)</p>	<p>1pC08 根毛細胞におけるオルガネラダイナミクスの解析 甘利俊樹¹, 永田典子², 伊藤正樹¹, 高塚大知^{1,3}(¹金大・生命理工, ²日本女子大・化学生命科学, ³JST・さきがけ)</p>	<p>1pC09 ライブイメージングと数理モデルから迫る, シロイヌナズナ受精卵の極性的な伸長機構 松本光梨¹, 康子辰², 中川朔未¹, 野々山朋信², 石本志高², 檜垣匠³, 津川暁², 植田美那子¹(¹東北大・院生命科学, ²秋田県大・システム, ³熊本大・IROAST)</p>	<p>1pD08 植物の配偶子融合因子 GCS1 の再検証 - Rearguard GCS1 中島耕大^{1,2}, アドヒカリバラカッシュ³, 東山哲也¹, 笠原竜四郎³(¹東大・院・理, ²テクニオン, ³名古屋大・生物機能開発利用研究センター)</p>
16:00	<p>1pA09 極限環境に生育するシアノバクテリアの探索 鈴木翔太, 河合繁, 浴俊彦, 広瀬侑(豊橋技科大応用化学・生命工学系)</p>			<p>1pD09 卵細胞外の斑点状構造はどのように形成されるか 須崎大地¹, 大井崇生², 御調日向子¹, 武内秀憲^{3,4}, 永原史織⁵, 杉直也¹, 木下哲¹, 丸山大輔¹(¹横浜市大・木原生研, ²名大・院・生命農学, ³名大・ITbM, ⁴名大・高等研, ⁵京大・院・理)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間			
植物生物間相互作用A	環境応答B/環境ストレス	一次代謝/特化(二次)代謝/植物ホルモン/シグナル伝達物質	発生・形態形成	X 会場	Y 会場	Z 会場				
<p>1pE05 ㊦ Tandem gene duplication generates a paralog that forms an NLR pair to confer resistance to rice blast fungus Yuying Li², Qiong Wang³, Huimin Jia⁴, Yoji Kawano¹ (¹Okayama University, ²Chinese Academy of Agricultural Sciences, ³Zhangzhou University, ⁴Jiangxi Agricultural University)</p>	<p>1pF05 ミナトカモジグサおよび小麦におけるムギネ酸補給による長期間の高温ストレスへの耐性向上 南杏鶴^{1,2}, 恩田義彦¹, 清水みなみ¹, 山口(上原)由紀子¹, 野副朋子^{3,4}, 鈴木基史⁵, 金谷麻加¹, 高萩航太郎¹, 井上小楨¹, 持田恵一^{1,2,6}(¹理研・環境資源科学研究センター, ²横浜国立大・木原研, ³明治学院大学・教養教育センター, ⁴東京大学・院農学生命科学, ⁵愛知製鋼, ⁶長崎大学・情報データ科学部)</p>	<p>1pG05 ホウレンソウの低シュウ酸化に寄与する遺伝子の同定 山中温人¹, 市川翔哉¹, 石橋和夫², 佐々木健太郎², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ, ²農研機構・生物機能利用研究部門)</p>	<p>1pH05 細胞ダイナミクスの定量解析から探る重力に応答した根の屈曲機構 郷達明¹, 津川暁², 相馬優輝¹, 米倉崇晃³, 笠谷光流¹, 中島敬二¹(¹奈良先端大・バイオサイエンス, ²秋田県立大・システム科学技術学部, ³東大・院理・生物科学)</p>	X 会場	Y 会場	Z 会場	15:00			
<p>1pE06 ㊦ Transcriptional landscape of rice receptor-like cytoplasmic kinases involved in rice immunity Wanqing Wang (Institute of Plant Science and Resources)</p>	<p>1pF06 ㊦ How does the sporangium protect the spore from heat? : The role of sporangium in the moss, <i>Physcomitrium patens</i> Chang-Hyun Maeng¹, Keita Nakamura², Kumi Yoshida³, Masaki Shimamura⁴, Atsushi Kume⁵, Yuji Hiwatashi⁶, Tomomichi Fujita⁷ (¹Graduate school of Life Science, Hokkaido University, ²Graduate School of Food, Agricultural and Environmental Sciences, Miyagi University, ³Faculty of Engineering, Aichi Institute of Technology, ⁴Graduate School of Integrated Sciences for Life, Hiroshima University, ⁵Faculty of Agriculture, Kyushu University, ⁶School of Food Industrial Sciences, Miyagi University, ⁷Faculty of Science, Hokkaido University)</p>	<p>1pG06 ㊦ The significance of <i>mtf</i>, <i>mtc</i>, and <i>cnb</i> genes for 2-methylisoborneol synthesis in <i>Pseudanabaena foetida</i> Kaushalya Dayarathne¹, Toshiki Ishikawa¹, Satoru Watanabe², Aikeranmu Kadeer¹, Masatoshi Yamaguchi¹, Maki Kawai-Yamada¹ (¹Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, Saitama, Japan, ²Department of Bioscience, Tokyo University of Agriculture, Tokyo, Japan)</p>	<p>1pH06 オーキシン応答を安定に維持する場の選抜によるシロイヌナズナ側根間隔の制御 大城翔平¹, 郷達明¹, 近藤洋平², 米倉崇晃³, 岩田健太郎⁴, 後藤千恵子⁴, 深城英弘⁴, 中島敬二¹(¹奈良先端大・バイオサイエンス, ²自然科学研究機構・生創探, ³東大・院・理, ⁴神戸大・院・理)</p>				Genetic transfer technology for plants and its associated sciences (14:00-17:00)	植物を操る新規分子を創る (14:00-17:00)	植物個体内の局所から全身の環境応答機構 (14:00-17:00)	15:15
<p>1pE07 細菌由来の免疫誘導ペプチド flg22 の C 末端を切り出す植物プロテアーゼの同定 松井彩¹, 野田沙希¹, 桑田啓子², 野元美佳³, 多田安臣³, 篠原秀文¹, 松林嘉克¹(¹名大・院理学, ²名大・ITbM, ³名大・遺伝子)</p>	<p>1pF07 なぜウマズミゴケの色は日向では黄緑色をしていて日陰では緑色をしているのか? 中島啓光 (埼玉大・院理工)</p>	<p>1pG07 アルミニウムを無毒化するユーカリの加水分解性タンニンの生合成遺伝子の探索 山溝千尋¹, 光田展隆², 江面健太郎^{2,3}, 伊原徳子¹, 田原恒¹(¹森林総研・樹木分子遺伝研究領域, ²産総研・生物プロセス研究部門, ³日本学術振興会)</p>	<p>1pH07 ㊦ Lateral Root Primordium Formation by Extended Auxin Signaling in the Arabidopsis Root System Feiyang Lin¹, Hidehiro Fukaki², Masaaki K. Watahiki^{1,2} (¹Grad. Sch. Life Sci., Hokkaido Univ., ²Grad. Sch. of Sci., Kobe Univ., ³Fac. Sci, Hokkaido Univ.)</p>							15:30
<p>1pE08 ㊦ Analysis of SnRK1 functions in sugar responsive modulation of immunity in Arabidopsis Linnan Jie¹, Ayumi Sugisaki², Shigetaka Yasuda³, Kohji Yamada⁴, Miho Sanagi^{1,5}, Mika Nomoto⁶, Susumu Uehara⁶, Yasuomi Tada⁶, Yusuke Saijo³, Junpei Takagi¹, Takeo Sato¹ (¹Fac. Sci., Hokkaido Univ., ²Sch. Sci., Hokkaido Univ., ³Grad. Sch. Sci. Tech., NAIST, ⁴Grad. Sch. Tech. Ind. Soc. Sci., Tokushima Univ., ⁵CRIS., Hokkaido Univ., ⁶Centr. Gene Res., Nagoya Univ.)</p>	<p>1pF08 全自動表現型解析システム RIPPS をもちいた日本産野生型系統の乾燥応答解析 藤田美紀¹, 井内聖², 榎屋啓志², 持田恵一¹, 小林正智², 篠崎一雄¹(¹理研 CSRS, ²理研 BRC)</p>	<p>1pG08 柑橘フェノール代謝の多様化を担う UbiA 型プレニル化酵素群の分子進化 松下修平¹, 棟方涼平^{1,2}, 赤木剛士^{2,3}, 松川哲也^{4,5}, Alain Hehn⁶, 矢崎一史¹(¹京都大・生存研, ²JST さきがけ, ³岡山大・環境生命, ⁴近大・附属農場, ⁵近大・生物理工, ⁶ロレーヌ大/INRAE)</p>	<p>1pH08 シロイヌナズナ <i>SUR2/CYP83B1</i> 遺伝子の変異アリル <i>fsp1</i> は側根創始細胞形成の側方抑制に働く TOLS2 ペプチドに対して低感受性を示す 後藤千恵子, 前原菜々子, 近藤佑貴, 石崎公庸, 深城英弘 (神戸大・院・理)</p>							15:45
<p>1pE09 糖シグナルを介した新規防御因子の同定 山田(山下)美鈴¹, 峯彰², 山田晃嗣¹(¹徳島大・院社会産業理工, ²京大院・農)</p>	<p>1pF09 リン酸欠乏時にストリゴラクトンはストロミュール形成およびクロロファジーを制御する 吉竹悠志志^{1,2}, 吉本光希¹(¹明大・農, ²日本学術振興会)</p>	<p>1pG09 ㊦ Changes in free and bound volatile compounds in fruits of different tomato cultivars harvested through two years Yingtao Li¹, Yusuke Kamiyoshihara², Yusuke Aono¹, Denise Tieman³, Harry Klee³, Miyako Kusano^{4,5,6} (¹Grad. Sch. of Life and Envi. Sci., Univ. Tsukuba, ²College of Bioresource Sciences, Nihon University, ³Department of Horticultural Sciences, University of Florida, ⁴Faculty of life and environment science, University of Tsukuba, ⁵Tsukuba Plant Innovation Research Center, University of Tsukuba, ⁶RIKEN Center for Sustainable Resource Science)</p>	<p>1pH09 ㊦ DOF-CLE signaling circuit in root vascular patterning Pingping Qian^{1,2}, Haruka Taito¹, Tatsuo Kakimoto¹ (¹Grad. Sch. Sci., Osaka Univ., ²Grad. Sch. Sci., Kobe Univ.)</p>	16:00						

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月17日(日) 午後(14:00-17:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場
	光合成	環境応答A/生理反応	オルガネラ/細胞骨格	生殖
16:15	<p>1pA10 長期にわたる暗所従属栄養条件で継代したシアノバクテリアのゲノム:光合成生育能の喪失をもたらす原因変異と微小進化過程 近田菜優¹, 上坂一馬¹, 馬場真理¹, 井原邦夫², 山本治樹¹, 藤田祐一¹(¹名古屋大・院生命農学, ²名古屋大・遺伝子実験施設)</p>		<p>1pC10 陸上植物における prospindle の形成機構と役割について 佐々木武馬¹, 石崎公庸², 本瀬宏康³, 小田祥久¹ (¹名古屋大・院・理, ²神戸大・院・理, ³岡山大・院・環境生命自然科学)</p>	<p>1pD10 活性化状態が異なるコムギ・イネ雑交受精卵を用いた受精卵の活性化および発生誘導機構の解析 赤木彩香, Tety Maryenti, Kasidit Rattanawong, 佐藤綾, 岡本龍史(東京都立大・院・生命科学)</p>
16:30	<p>1pA11 シアノバクテリア <i>Phormidium</i> sp. NIES-4144 におけるユニークな光色順化 中田龍¹, 川本晃大², 久布白睦実¹, 大城香³, 浴俊彦¹, 栗栖源嗣², 広瀬佑¹(¹豊橋技術科学大学・応用化学・生命工学系, ²大阪大学タンパク質研究所, ³福井県立大学・海洋生物資源学部)</p>		<p>1pC11 植物微小管形成における MPB2C の機能解明 山住優斗^{1,2}, 八木慎宜², 中村匡良²(¹名古屋大学・生命理学, ²名古屋大学・ITbM)</p>	<p>1pD11 ㊦ Monitoring the degradation process and elimination pathway of paternal mitochondria during early zygotic development in rice Hanifah Aini¹, Kasidit Rattanawong¹, Mari Tanaka³, Hiroyuki Tsujii^{2,3}, Takashi Okamoto¹ (¹Dept. Biol. Sci., Tokyo Met. Univ., ²Biosci. Biotech. Center, Nagoya Univ., ³Kihara Inst. for Biol. Research., Yokohama City Univ.)</p>
16:45			<p>1pC12 ゼニゴケ仮根伸長における NIMA 関連キナーゼと微小管付随タンパクの機能的相互作用 本瀬宏康(岡山大院・環境生命自然科学)</p>	<p>1pD12 ㊦ Paternal allele dependent <i>OsBBMLs</i> expression initiates zygotic development in rice Nargis Akter¹, Kasidit Rattanawong¹, Aya Satoh¹, Tezuka Takumi², Yutaka Sato², Takashi Okamoto¹ (¹Dept. Biol. Sci., Tokyo Met. Univ., ²Plant Genetics, NIG)</p>

E 会場	F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
植物生物間相互作用A	環境応答B/環境ストレス	一次代謝/特化(二次)代謝/植物ホルモン/シグナル伝達物質	発生・形態形成				
<p>1pE10 有益糸状菌トリコデルマの根への定着によりシロイヌナズナにおいて誘導される全身的な反応 酒井彩衣¹, 山縣陽咲子¹, 内藤圭吾¹, 富永貴哉², 伊福伸介³, 上中弘典⁴(¹鳥取大・院農, ²鳥取大・連農, ³鳥取大・院工, ⁴鳥取大・農)</p>	<p>1pF10 ㊦ Symbiodiniaceae Cells Exhibit High Sensitivity to Low Dose UV-C Alvin Chun Man Kwok, Wayne, Wing Tai Lam, Joseph Tin Yum Wong (Division of Life Science, The Hong Kong University of Science and Technology, Clear Water Bay, Kowloon, Hong Kong)</p>	<p>1pG10 地域別ダイズ圃場における土壌揮発性有機化合物の年次変動解析 松木涼夏¹, 朽方ひかり¹, 二瓶直登², 市橋泰範³, 草野都^{4,5,6}(¹筑波大・院生命地球科学 研究群 生物資源科学学位プログラム, ²福島大・食農学類 農業生産学コース, ³理化学研究所バイオリソース研究センター, ⁴筑波大学生命環境系, ⁵筑波大学つくば植物機能イノベーション研究センター, ⁶理化学研究所環境資源科学研究センター)</p>	<p>1pH10 ㊦ Identification and characterization of target genes for an <i>Arabidopsis</i> bHLH transcription factor LRL1 in root hairs Shahrazad Haghir, Takashi Aoyama (Dep. Biophysics, Inst. ICR, Kyoto Univ.)</p>	シンポジウムS04 Genetic transfer technology for plants and its associated sciences (14:00-17:00)	シンポジウムS05 植物を操る新規分子を創る (14:00-17:00)	シンポジウムS06 植物個体内の局所から全身の環境応答機構 (14:00-17:00)	16:15
<p>1pE11 ㊦ The Binding of Ca²⁺-Dependent Protein Kinase to the Suppressor of Potato Late Blight Pathogen Proved by Fluorescence Correlation Spectroscopy (FCS) Inhibits the NADPH Oxidase and Active Oxygen Generation in Potato Cell Naotaka Furuichi (AAAS, USA)</p>	<p>1pF11 ヒメツリガネゴケを用いた B3-RAF/SnRK2 を介した ABA シグナル制御に関わるエチレン受容体型ヒスチジンキナーゼの機能ドメイン解析 佐々木健人, 鳥山士, シェイク ラフル, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一(東京農大・バイオ)</p>	<p>1pG11 種子発芽におけるクマリン誘導体の除草作用に関する分子的な洞察 福田和真¹, 吉田達成¹, 百武蒼太¹, 大石泰雅¹, 古賀瑞歩¹, 松浦彪撃¹, 江上知里¹, 伊藤龍成¹, 塚原康晴¹, 吉田貴子², 龍田典子², 永野幸生², 松高和秀¹(¹佐賀県立致遠館高等学校, ²佐賀大学)</p>	<p>1pH11 導入が容易かつ汎用性のある根の顕微鏡観察法 MiCHy の開発 四方明格^{1,2,4}, 佐藤良勝^{2,3}, Claus Schwechheimer⁴(¹基生研・植物環境応答, ²名古屋大・ITbM, ³名古屋大・院理, ⁴ミュンヘン工科大・Plant Sys. Biol.)</p>				16:30
	<p>1pF12 ヒメツリガネゴケにおける浸透圧ストレスおよび水没に応答するエチレン受容体型ヒスチジンキナーゼファミリーの機能解析 宮部マルコス武志¹, 松村拓樹¹, 鳥山士¹, 竹澤大輔², 四井いずみ¹, 太治輝昭¹, 坂田洋一¹(¹東京農大・バイオ, ²埼玉大・理工学研究科)</p>		<p>1pH12 水陸両生植物 2 種における根の表現型可塑性の発生的収斂進化 佐藤友¹, 古賀皓之², 塚谷裕一²(¹東大・理, ²東大・院・理)</p>				16:45

㊦ = 発表の言語は英語

F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間									
環境応答B/環境ストレス	特化(二次)代謝/生体膜・イオン・物質輸送	発生・形態形成	ゲノム機能・遺伝子発現制御	シンポジウム1008 Plant and Algal Lipids: How they cope with environment by modifying lipids? (9:00-12:00)	シンポジウム1008 Survival strategies and its molecular basis of plants through switching life histories (9:00-12:00)										
2aF01 AOD12 は DNA 損傷を修復することでシロイヌナズナの浸透圧耐性に寄与する 小林晃也 ¹ , 金盛一起 ¹ , 日出間純 ² , 森俊雄 ³ , 田中啓介 ⁴ , 四井いずみ ¹ , 坂田洋一 ¹ , 太治輝昭 ¹ (1東京農大・バイオ, 2東北大学・生命科学研究所, 3奈良県立医科大学・組織DNA実験施設, 4東京農大・ゲノムセンター)	2aG01 オウレン培養細胞内におけるベンジルイソキノリンアルカロイド分解経路の解析 高松編花 ¹ , 河西俊介 ¹ , 杉山龍介 ^{1,2} , 山田泰之 ^{2,3} , 山崎真巳 ^{1,4} (1千葉大・薬学, 2JST さきがけ, 3神戸薬科大, 4千葉大植物分子化学セ)	2aH01 シロイヌナズナ芽生えにおけるクチクラ層形成制御機構の解析 永田賢司 ¹ , 前川一郎 ² , 高橋卓 ³ , 阿部光知 ^{1,2} (1東大・院総合文化, 2東大・教養・統合生命, 3岡山大学・院自然科学)	2aX01 ㊦ The Interplay Between DNA Methylation and Lipid Production in Plants Jo-Wei Allison Hsieh ^{1,2} , Kuan-Lin Chen ¹ , Yu-Chi Liu ¹ , Chia-Yen Wu ⁴ , Van C. Nguyen ² , Hai Anh Ngo ² , Nguyen M. Linh ² , Kuan-Ting Hsin ¹ , Yuki Nakamura ^{2,3} , Paoyang Chen ¹ (1Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, 2RIKEN Center for Sustainable Resource Science, Yokohama, Japan, 3Graduate School of Science, The University of Tokyo, Japan)				09:00								
2aF02 ゲノム編集を用いたトマト SAL1-PAP 逆行性シグナル経路の解析 木村晋之介, 大谷知希, 宮部マルコス 武志, 四井いずみ, 太治輝昭, 坂田洋一 (東京農大・バイオ)	2aG02 ㊦ Gene expression and metabolite profiles of Brassica plants in response to abiotic and biotic stresses Jemilie Madonna Samaniego de Leon, Shinichiro Komaki, Mutsumi Watanabe, Takayuki Tohge (Grad. Sch. Sci., Tech., NAIST)	2aH02 ヒストン修飾を介したオオムギの芒形成機構 中村光希 ¹ , 菊池優一 ¹ , 白神美瑞穂 ² , 小竹敬久 ³ , 久野裕 ^{1,2} , 武田真 ^{1,2} , 池田陽子 ^{1,2} (1岡山大学・院環境生命, 2岡山大学・植物研, 3埼玉大学・理工学)	2aX02 ㊦ Exploration of CpG Methylation in Plant Mitochondrial DNA Yuyang Zhong ¹ , Miki Okuno ² , Nobuhiro Tsutsumi ¹ , Shin-ichi Arimura ¹ (1Grad. Sch. of Agri., Univ. Tokyo, 2Kurume Univ. Sch. of Med.)							09:15					
2aF03 シロイヌナズナ野生系統間における浸透圧耐性多様性機構の遺伝学的解析 村越祐介 ¹ , 番場康介 ¹ , 平野貴大 ¹ , 有賀裕剛 ² , 田中啓介 ³ , 四井いずみ ¹ , 坂田洋一 ¹ , 太治輝昭 ¹ (1東京農大・バイオ, 2農研機構・遺伝資源, 3東京農大・ゲノムセンター)	2aG03 ㊦ Comparative Analysis on Secondary Metabolism in different tissues of Subspecies of <i>Oryzasativa</i> Tzie Choong Isaac Choo, Tomoki Kobayashi, Mutsumi Watanabe, Takayuki Tohge (Grad. Sch. Sci., Tech., NAIST)	2aH03 ゼニゴケの発生におけるセリン生合成リジン酸化経路の機能 平井優美 ^{1,2} , 王梦瑶 ^{1,2} , 多部田弘光 ^{1,3,4} , 大高きぬ香 ^{1,2,5} , 桑原亜由子 ¹ , 西浜竜一 ^{6,7} , 石川寿樹 ⁸ , 豊岡公徳 ¹ , 佐藤萌子 ¹ , 若崎真由美 ¹ , 明石寛道 ¹ , 津川裕司 ^{1,9} , 庄司翼 ¹ , 岡咲洋三 ^{1,10} , 吉田啓亮 ¹¹ , 佐藤諒一 ¹ , Ali Ferjani ⁴ , 河内孝之 ⁹ (1理研CSRS, 2名大院・生命農学, 3東大・総合文化, 4東芸大・自然科学, 5日女大・化学生命科学, 6京大・生命科学, 7東理大・応用生物科学, 8埼玉大・理工学, 9農工大・生命工学, 10三重大・生物資源, 11東工大・科学技術創成)	2aX03 2色咲きダリアとベチュニアの形質発現に対するフラボノイドとダイサー DCL4 活性との関係の解析 栗山和典 ¹ , 大野翔 ² , 田原緑 ³ , 福原敏行 ¹ (1東京農工大・連合農学, 2京都大・院農学, 3立命館大学・R-GIRO)										09:30		
2aF04 ミトコンドリア RNA 編集はシロイヌナズナの環境ストレス耐性に関与する 澤井里歩 ¹ , 三沢昂輝 ¹ , 旭文輝 ¹ , 山崎明歩 ¹ , 竹中瑞樹 ² , 中里一星 ³ , 有村慎一 ³ , 四井いずみ ¹ , 太治輝昭 ¹ , 坂田洋一 ¹ (1東京農大・バイオ, 2京大・院・理学, 3東京大・院・農)	2aG04 ㊦ Cross-species wide functional analysis of MYB transcriptional regulators in the phenylpropanoid pathway Maria Kenosis Emmanuelle Lachica, Shinichiro Komaki, Mutsumi Watanabe, Takayuki Tohge (Nara Institute of Science and Technology)	2aH04 ヒメツリガネゴケにおけるアブシジン酸シグナル経路を介した原形質連絡の密度制御 神野智世 ¹ , 藤崎健 ² , 四井いずみ ² , 大内基生 ³ , 橋本悟史 ⁴ , 竹澤大輔 ³ , 坂田洋一 ² , 藤田知道 ¹ (1北海道大・院生命科学, 2東京農大・院・バイオ, 3埼玉大・理工学研究所, 4北海道大・院理)	2aX04 ミトコンドリア mRNA の転写後調節に関わる RNA ヘリケース AGS2 の解析 海田晴子 ^{1,2} , June-Sik Kim ^{2,3} , 間宮章仁 ^{4,5} , 杉山宗隆 ⁵ , 持田恵一 ^{3,6} , 平山隆志 ^{1,2} (1岡山大学・院環境生命自然科学, 2岡山大学・資源植物科学研究所, 3理研・環境資源科学研究センター, 4神戸大・院理学, 5東大・院理学, 6長崎大・情報データ科学)												
2aF05 シロイヌナズナ B3-RAF キナーゼが ABA および浸透圧ストレスに反応して subclass III SnRK2 を活性化化するメカニズムの解析 中山功貴 ¹ , 小原直也 ¹ , 四井いずみ ¹ , 太治輝昭 ¹ , 片桐壮太郎 ² , 梅澤泰史 ² , 竹澤大輔 ³ , 坂田洋一 ¹ (1東京農大・バイオ, 2農工大・院・BASE, 3埼玉大・理工学研究所)	2aG05 ダイズにおいてソキサボニン生合成を制御する bHLH 型転写因子の機能解析 森田遥絵 ¹ , 北村実紗子 ¹ , 岡本有平 ¹ , 田村啓太 ² , 坊農秀雅 ^{2,3} , 村中俊哉 ^{1,4} , 關光 ^{1,4} (1阪大院・工・生物工学, 2広島大・ゲノム編集イノベーションセンター, 3広島大・院統合生命, 4大阪大学先導的学際研究機構)	2aH05 ABA はヒメツリガネゴケにおいて細胞極性, 成長, 細胞周期進行と環境ストレス応答のバランス制御を通じて幹細胞運命を交換する バイヤバスカル マルセル ^{1,2} , 神野智世 ³ , 廣口寛彦 ⁴ , 野田なつみ ¹ , 中村康平 ³ , 鈴木稜 ⁴ , 藤田知道 ¹ (1北大・院理, 2北大・高機構, 3北大・院生命, 4東大・創成)	2aX05 脱アデニル化酵素 AtCAF1/k はシュート再生に働く 荒江星拓 ¹ , 倉地草太 ² , 川合浩輔 ² , 今堀莉子 ² , 千葉由佳子 ^{2,3} , 大谷美沙都 ¹ (1東大院・新領域, 2北大・院・先端生命, 3北大・院・理)	10:00											

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月18日(月) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	オルガネラ/細胞骨格/膜交通	生殖	植物生物間相互作用A
10:15	2aA06 C ₄ 種 <i>Flaveria bidentis</i> において循環型電子伝達はPSIの光保護に関与する 中村明日香 ¹ , 小川敦子 ² , 松村篤 ¹ , 宗景ゆり ¹ (¹ 関学・院理工, ² 埼玉大・院理工)	2aB06 イネのフィチン酸含量を低減させるINO1アンタゴニストの開発を目指した薬剤探索 赤羽根健生 ¹ , 神野智司 ² , 池田和由 ^{3,4} , 米澤朋起 ⁴ , 加藤悦子 ⁵ , 廣津直樹 ¹ (¹ 東洋大・院・生命科学, ² 株式会社CRYO SHIP, ³ 理研・計算科学, ⁴ 慶應大・薬学, ⁵ 東洋大・食環境科学)	2aC06 ゼノゴケの油体形成期に再編成される新奇微小管構造 金澤建彦 ^{1,2} , 上田貴志 ¹ (¹ 基生研・細胞動態, ² 総研大・生命科学)	2aD06 青色光照射による効率的な花粉管破裂誘導法の開発 杉直也 ¹ , 須崎大地 ¹ , 水多陽子 ² , 木下哲 ¹ , 丸山大輔 ¹ (¹ 横浜市大・木原生研, ² 名大・高等研・IT&M)	2aE06 ㊦ Spatiotemporal dissection of camalexin functions in plant-bacterial interactions Saki Nakakoji ¹ , Haruka Tachibana ¹ , Kaoru Nakagawa ² , Koji Okuda ² , Eriko Betsuyaku ¹ , Mizuki Iwamoto ³ , Shunsuke Masuo ^{4,5} , Shigeyuki Betsuyaku ¹ (¹ Pac. Agr., Ryukoku Univ., ² Shimadzu Corp., ³ Grad. Sch. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba, ⁴ Pac. Life & Env. Sci., Univ. Tsukuba, ⁵ Microbiol. Res. Ctr. Sust., Univ. Tsukuba)
10:30	2aA07 光化学系IIにおける第二キノン電子受容体Q _B の電子・プロトン移動反応の時間分解赤外分光検出 加藤祐樹, 伊藤帆奈美, 野口巧(名古屋大・院理)	2aB07 ㊦ Prohydrojasmon Induces Species-Specific Aliphatic Glucosinolate Accumulation and Its Related Gene Expression in <i>Brassica juncea</i> Var. <i>Cernua</i> and <i>Brassica Rapa</i> Mahina Sharipova (T-L.SI, Grad. Sch. Sci. and Tech, Univ. Tsukuba)	2aC07 MAIG03は小胞体ドメインER exit siteとゴルジ体との相互作用に関与する 高木純平 ¹ , 高橋英之 ² , 長野稔 ³ , 守屋健太 ⁴ , 深尾陽一郎 ³ , 上田晴子 ⁵ , 田村謙太郎 ⁶ , 嶋田知生 ² , 西村いくこ ⁵ (¹ 北大・院理, ² 京大・院理, ³ 立命館大・生命科学, ⁴ 京大・生医研, ⁵ 甲南大・理工, ⁶ 静岡県立大・食品栄養科学)	2aD07 シロイヌナズナ属における花粉管受容および拒絶機構の解析 長江拓也 ¹ , 藤井壮太 ^{1,2} (¹ 東京大・院農学生命科学, ² サントリーSunRISE)	2aE07 <i>jas</i> オペロンが作り出すサイトカイニン様化合物の機能解析 吉野実花 ¹ , Surjana Alicia ¹ , 小嶋美紀子 ² , 幸木謙典 ¹ , 西川俊夫 ¹ , 榎原均 ^{1,2} (¹ 名大院・生命農, ² 理研CSRS)
10:45	2aA08 シロイヌナズナ <i>pif1</i> 変異体における光化学系II最大量子収率の低下と葉緑体NDH複合体活性の関わり 村井美波 ¹ , 木村文香 ¹ , 今泉滉 ¹ , 吉田啓亮 ² , 車玉芬 ³ , 石川規子 ¹ , 久堀徹 ^{2,4} , 上妻隆聖 ¹ , 伊福健太郎 ¹ (¹ 京大院・農, ² 東工大・研究院・化生研, ³ 京大院・生命, ⁴ 東工大・IRFI)		2aC08 シロイヌナズナの花粉で機能するPICALM5とANXURの結合メカニズムの解析 榎根美佳 ¹ , 室啓太 ² , 野澤彰 ³ , 澤崎達也 ³ , 上田貴志 ^{1,4} , 海老根一生 ^{1,4} (¹ 基生研, ² 大阪公立大, ³ 愛媛大, ⁴ 総研大)	2aD08 イネ受精卵および初期胚発生過程の三次元イメージング 手捲萌乃, 岡本龍史, 木下温子(都立大・院・理)	2aE08 ㊦ Constitutive expression of a phytopathogenic ascomycete-associated gene tends to suppress infection of <i>Colletotrichum higginsianum</i> Ryushin Yamaguchi ¹ , Arisa Kuramoto ¹ , Koh Aoki ² , Ayako Tsushima ² (¹ Coll. Life Environ. Sci., Osaka Pref. Univ., ² Grad. Sch. Agric., Osaka Metro. Univ.)
11:00	2aA09 葉の老化過程における光合成電子伝達系の分解様式と活性酸素抑制機構の関係 北川晴香, 大西美帆, 和田慎也, 三宅親弘(神戸大・農学)		2aC09 シロイヌナズナ PICALM による VAMP72 制御メカニズムの解析 海老根一生 ^{1,2} , 藤本優 ³ , 室啓太 ⁴ , 武内秀憲 ⁵ , 野澤彰 ⁶ , 東出あんな ⁷ , 植村知博 ⁷ , 澤崎達也 ⁶ , 東山哲也 ⁸ , 上田貴志 ^{1,2} (¹ 基生研・細胞動態, ² 総研大・先端学術院, ³ 東大・院農, ⁴ 大阪公立大・院農, ⁵ 名大・ITBM, ⁶ 愛媛大・プロテオサイエンスセンター, ⁷ お茶大・院, ⁸ 東大・院理)	2aD09 AGAMOUSの下流でジャスモン酸が花卉の脱離を制御する 吉田優生, 山口暢俊, 伊藤寿朗(奈良先端大・バイオ)	2aE09 リン枯渇環境における受容体レパートリーの再編を介した植物の免疫制御 土田菜月 ¹ , 山下昂太 ² , 梅澤泰史 ² , 西條雄介 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 農工大・院・BASE)
11:15	2aA10 シロイヌナズナの冠水時に起こるCO ₂ 欠乏に対する光合成の光保護機構 戸次咲恵 ¹ , 大西亜依 ² , 和田元 ² , 小林康一 ³ (¹ 大阪府大・理学, ² 東大・院・総合文化, ³ 大阪公立大・院・理学)		2aC10 超解像ライブイメージングを用いた花粉管伸長におけるVAMP72グループの動態解析 東出あんな ¹ , 伊藤瑛海 ³ , 伊藤容子 ² , 海老根一生 ^{4,5} , 上田貴志 ^{4,5} , 中野明彦 ⁶ , 植村知博 ^{1,2} (¹ お茶大・院・ライフサイエンス, ² お茶大・基幹研究院, ³ お茶大・ヒューマンライフ, ⁴ 基生研・細胞動態, ⁵ 総研大・基礎生物, ⁶ 理研・光子工学)	2aD10 長期保存種子の発芽能力維持におけるオートファジーの重要性 篠崎大樹 ^{1,2} , 高山恵莉菜 ² , 川上直人 ² , 吉本光希 ² (¹ 明治大・研究知財, ² 明治大・農・生命科学)	2aE10 シロイヌナズナの根におけるリン枯渇応答制御因子を介した微生物感染制御 只井遙美 ¹ , 石原大雅 ¹ , 岡田健太郎 ¹ , 千種亮 ¹ , Utami Yuniar Devi ¹ , 藤田美紀 ² , 林哲也 ³ , Cosentino Salvatore ⁴ , 岩崎涉 ⁴ , 晝間敬 ⁴ , 安田盛貴 ¹ , 西條雄介 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 理研・環境資源科学研究センター, ³ 九州大・医学, ⁴ 東大・新領域創成科学)
11:30	2aA11 多周波電子常磁性共鳴(EPR)法によるマンガクラスター High Spin S ₂ 状態の構造 小崎慎也 ¹ , 中島芳樹 ² , 沈建仁 ² , 三野広幸 ¹ (¹ 名大・院理, ² 岡山大・異分野基礎研)		2aC11 シロイヌナズナ VAMP714の細胞内局在と生理機能の解析 江口倫子 ¹ , 遠藤彩瑛 ¹ , 伊藤瑛海 ² , 中野明彦 ³ , 植村知博 ¹ (¹ お茶の水女子大・院・ライフサイエンス, ² お茶の水女子大学・ヒューマンライフ, ³ 理研・光子工学)	2aD11 <i>orf320</i> の過剰発現はトマトに雄性不稔を引き起こす 中嶋梨花 ¹ , 桑原康介 ¹ , 白澤健太 ² , 有泉亨 ³ (¹ 筑波大・院生命地球, ² かずさDNA研究所, ³ 筑波大・生命環境)	2aE11 ㊦ Interference with host root growth and immunity by root microbiota members and its genetic determinants Jana Hucklenbroich ¹ , Ryohei Thomas Nakano ^{1,2} (¹ MPIZ, ² Pac. Sci., Hokkaido Univ.)
11:45			2aC12 シロイヌナズナ SYLK(Syntaxin 6-like protein in vascular plant)の機能解析 東出さくら ¹ , 伊藤瑛海 ² , 伊藤容子 ² , 清水優太郎 ³ , 晝間敬 ⁴ , 中野明彦 ⁵ , 植村知博 ^{1,6} (¹ お茶大・院・ライフサイエンス, ² お茶大・ヒューマンライフ, ³ 理研・環境資源科学, ⁴ 東大・院・総合文化, ⁵ 理研・光子工学, ⁶ お茶大・基幹研究院)	2aD12 アブラナ科植物における種間不適合制御因子SPRIZの機能解析 伊藤星太郎 ¹ , 山本絵里 ¹ , Surachat Tangranomkorn ¹ , 木村友香 ¹ , 加藤義宣 ^{1,2} , 新留真紀 ¹ , 高山誠司 ¹ , 藤井壮太 ^{1,3} (¹ 東大・院農, ² STJさきかけ, ³ サントリーSunRISE)	

F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
環境応答B/環境ストレス	特化(二次)代謝/生体膜・イオン・物質輸送	発生・形態形成	ゲノム機能・遺伝子発現制御			
<p>2aF06 シロイヌナズナの短期高温耐性の遺伝学的解析 柳原美来¹, 植木真生¹, 鈴木孝征², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ, ²中部大・応用生命科学)</p>	<p>2aG06 イソフラボンの根圏分泌に関与するダイズ輸送体遺伝子の探索と生化学的解析 松田陽菜¹, 棟方涼介^{1,2}, 中安大¹, 山崎真一^{3,4}, 青木裕一⁴, 永野惇^{5,6}, 矢崎一史¹, 杉山暁史¹(¹京大・生存研, ²JSTさきがけ, ³理研BRC, ⁴東北大・ToMMo, ⁵龍谷大・農, ⁶慶應大・IAB)</p>	<p>2aH06 ㊦ Plant PI-PLC pathway poses novel effect toward vacuole morphology thus affect cell polarity and asymmetrical cell division Haolin Zong¹, Alisa Vyacheslavova¹, Tomomichi Fujita²(¹Doctoral course student/ Grad sch Life Sci., Hokkaido University, Kita10 Nishi8, Kita-ku, Sapporo 060-0810, Japan, ²Faculty of Science, Hokkaido University, Kita10 Nishi8, Kita-ku, Sapporo 060-0810, 060-0810 Japan)</p>	<p>2aX06 drol1 サプレッサーにおける AT-AC 型スプライシングの解析 鈴木孝征¹, 丹羽智子¹, 小野凱生¹, 荒牧大介¹, 伊藤佑真¹, 稲波右里子¹, 井上樹¹(中部大・応用生物)</p>	シンポジウム007 Plant and Algal Lipids: How they cope with environment by modifying lipids? (9:00-12:00)	シンポジウム008 Survival strategies and its molecular basis of plants through switching life histories (9:00-12:00)	10:15
<p>2aF07 シロイヌナズナ長期高温感受性変異株 <i>sloh1</i> の遺伝学的解析と RNAseq 解析 山口凌¹, 細井昂人², 田中啓介², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ, ²東京農大・ゲノムセンター)</p>	<p>2aG07 ムラサキのシコニン生産と同調して発現するポリフェノールオキシダーゼの機能解析 中西浩平¹, 高野祐希¹, 山本恭子¹, 松田悠希², 佐々木佳菜子¹, 小原一朗¹, 市野琢爾^{1,3}, 巽奏¹, 李家¹, 棟方涼介¹, 刑部敬史⁴, 下村謙一郎⁵, 杉山暁史¹, 高梨功次郎², 矢崎一史¹(¹京都大・生存研, ²信州大・院総合理工, ³神戸薬科大, ⁴徳島大・生物資源, ⁵東洋大・院生命科学)</p>	<p>2aH07 ゼニゴケ受精卵のライブイメージングで探る体軸形成の進化 木全祐資¹, 藤森西², 中村聡汰¹, 岡村陽介¹, 植田美那子¹(¹東北大・院・生命科学, ²東北大・理学部, ³東海大・工学部)</p>	<p>2aX07 シロイヌナズナ U5 snRNP サブユニット SD5/DROL1 は pre-mRNA スプライシングとジャスモン酸シグナリングを介して栄養応答を制御する 石橋遼太¹, 荒江星拓¹, 吉積毅², 栗原志夫^{2,3}, 黒森崇², Zofia Szweykowska-Kulińska⁴, Artur Jarmolowski⁴, 平山隆志⁵, 松井南², 大谷美沙都^{1,2}(¹東京大・院・新領域, ²理研・CSRS, ³東京大・院・総合文化, ⁴IBMIB, Adam Mickiewicz Univ., ⁵岡山大学・資源植物学研究所)</p>			10:30
<p>2aF08 SALT 遺伝子の機能欠損はシロイヌナズナの耐塩性を向上させる 梶野拓磨¹, 内山佳織¹, 長谷純宏², 堀江智明⁴, 有賀祐剛², 四井いずみ¹, 坂田洋一¹, 太治輝昭¹(¹東京農大・バイオ, ²農研機構・遺伝資源, ³QST 高崎研, ⁴信州大・繊維学部)</p>	<p>2aG08 ムラサキ培養細胞から分泌されるシコニン含有顆粒はアラビノガラクトタンパク質に覆われベクチンマトリックスに包埋されている 松岡健¹, 市野琢爾^{2,3}, 中西浩平², 矢崎一史²(¹九大・院農, ²京大・生存圏, ³神戸薬科大)</p>	<p>2aH08 ゼニゴケの自発的及びストレス誘導性の細胞質 Ca²⁺濃度変化の時空間パターン 朽津和幸¹, 池内亨¹, 瀬野衣里奈¹, 渡邊健志郎¹, 町野友昭¹, 神谷佳世¹, 橋本貴史¹, 坪山祥子¹, 小嶋華¹, 山下優音¹, 橋本研志¹(東京理科大・創域理工・生命生物科学)</p>	<p>2aX08 tRNA 修飾欠損シロイヌナズナ変異体の翻訳機能に関連した特徴について 中井由実¹(大阪医薬大・医・生化学)</p>			10:45
<p>2aF09 ブドウにおける TCA 回路代謝産物による気孔閉鎖の制御 三俣好令¹, 糞如海², 裴旋旋¹, 叶文秀¹(¹北京大・現代農業研究院, ²山西農業大・園芸学院)</p>	<p>2aG09 イネナガン輸送体 OsNramp5 の偏在と膜輸送に関わる領域の同定 小西範幸¹, 馬建鋒¹(岡山大・植物研)</p>	<p>2aH09 オーキシンによる側根創始細胞の極性形成と内鞘細胞分裂箇所限定の仕組み 金田紗直¹, 柿本辰男¹(大阪大・院理)</p>	<p>2aX09 ㊦ The regulating miRNA-RISC loading and post-translational AGO1 regulation in gene silencing suppression Shih-Shun Lin (Institute of Biotechnology, National Taiwan University)</p>			11:00
<p>2aF10 サイトカニンを経た外皮のスペリン化がイネの酸素漏出バリア形成に関与する 塩野克宏¹, 清水香那¹, 石川愛佳^{1,2}, 江尻真斗¹, 緒方是嗣³, 山本卓志³, 平修⁴(¹福井県大・生物資源, ²東北大・院生命科学, ³鳥津製作所, ⁴福島大・食農学)</p>	<p>2aG10 ㊦ Interaction of Arabidopsis vacuolar magnesium ion transporter MRS2-1 with calmodulin-like protein CML13 Xiaoyu Yang¹, Motoyuki Hattori², Shunsuke Watanabe^{3,5}, Mitsunori Seo^{4,5}, Natsuko I. Kobayashi¹, Yuko Kurita¹, Keitaro Tanoi¹(¹Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, ²School of Life Sciences, Fudan University, ³IPSIM, Univ Montpellier, CNRS, INRAE, Institut Agro, ⁴Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus, ⁵RIKEN Center for Sustainable Resource Science)</p>	<p>2aH10 シロイヌナズナ胚の二放射相称の確立における非対称な遺伝子発現の役割 渡邊千史¹, 井本彩愛², 石田喬志¹, 相田光宏¹(¹熊大院・自然科学, ²奈良先端大・バイオ)</p>	<p>2aX10 ㊦ The PG-box is essential for the formation and enzyme activation of DYW1-containing RNA editosome Tenghua Wang, Mizuki Takenaka (Kyoto University)</p>			11:15
<p>2aF11 強光・低温の複合ストレス応答を担うシロイヌナズナプロモーターの制御機構の解析 三田井香葉¹, Okechukwu Samson Ezech², 速水菜月², 小玉和靖¹, 井内聖³, 山本義治^{1,2,4,5}(¹岐阜大・院自然研, ²岐阜大連農, ³理研BRC, ⁴岐阜大・応用生物科学部, ⁵理研CSRS)</p>	<p>2aG11 気孔タイプ ALMT を活性化化する相互作用因子の探索 佐々木孝行¹, 森泉¹(岡山大・植物研)</p>	<p>2aH11 マスター転写因子の活性調節と表皮細胞の運命決定 高田忍¹, 吉田彩香¹, 飯田浩行^{1,2}(¹大阪大学・理学部・生物, ²Viikki Plant Science Centre, University of Helsinki)</p>				11:30
	<p>2aG12 糖輸送体 SWEET の活性制御機構の解明 田中遥那^{1,2}, 磯田玲華², 三城恵美², Wolf B. Frommer³, 中村匡良²(¹名古屋大学大学院理学研究科, ²名古屋大学トランスフォーメティブ生命科学分子研究所, ³ハインリッヒ・ハイネ・デュッセルドルフ大学分子生理学研究所)</p>					11:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月19日(火) 午前(9:00-12:00)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	光合成	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	細胞壁	細胞周期・分裂	植物生物間相互作用B
09:00	3aA01 光化学系IIのTwo-step 光損傷機構の再検討 小島俊太, 西山佳孝(埼玉大院・理工)	3aB01 質量分析計を用いたMRM法によるトマトACC合成酵素タンパク質の検出・定量 森仁志(名古屋大学・院生命農学・糖鎖生命コア研究所)	3aC01 シロイヌナズナTPFLA3の花粉粘性およびエキシン構造維持における機能 鍋田紗紀, 西原誠也, 上木望路, 石黒達衛(名古屋大・生命農)	3aD01 気孔形成において細胞分裂を制御するTCXファミリータンパク質による転写因子複合体の形成 峯田敬斗, 岩川秀和 ² , 西内巧 ³ , 伊藤正樹 ² (¹ 金沢大・院・自然科学, ² 金沢大・生命理工, ³ 金沢大・疾患モデル総合研究センター)	3aE01 NBRP トマト変異体リソースから発見した病徴様表現型を示す変異体の取集 杉本貢一, Yoko Fujimori, 江面浩(筑波大・T-PIRC)
09:15	3aA02 ㊦ Enhanced tolerance of photosystem II to strong light and high temperature via reinforcement of translational and antioxidant systems in <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 Pornpan Napaumpaiporn ¹ , Takako Ogawa ¹ , Kintake Sonoike ² , Yoshitaka Nishiyama ¹ (¹ Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ, ² Fac. Edu., Waseda Univ.)	3aB02 環境応答に関わるペプチドシグナルの役割 下達野明恵(名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM))	3aC02 ㊦ Measurement of root mechanical properties in an <i>A. thaliana</i> GWAS population Marcel Beier ¹ , Yunshu Wang ² , Yuta Nakagawa ³ , Andres Aguilar Ariza ² , Liyu Deng ³ , Tomomichi Fujita ⁴ , Shumpei Hayashi ⁵ , Akihiro Isozaki ⁶ , Keisuke Goda ^{3,6,7} , Hirotaka Hida ⁵ , Toru Fujiwara ² (¹ Inst. Adv. Higher Edu, Hokkaido University, ² Dep. Appl. Biol. Chem., Grad. Sch. Agri. Life Sci., The University of Tokyo, ³ Dep. Chem, Grad. Sch. Sci, The University of Tokyo, ⁴ Fac. Sci. Hokkaido University, ⁵ Dep. Mech. Eng., Grad. Sch. Kobe University, ⁶ Dep. Bioeng. Samuelli Sch Eng. University of California, ⁷ Inst. Tech. Sci., Wuhan University, ⁸ Grad. Sch. Life Science, Hokkaido University)	3aD02 シロイヌナズナASYMMETRIC LEAVES2(AS2)タンパク質の細胞周期に依存した動態変化 笹部美知子 ¹ , 鈴木景子 ¹ , 山上楓 ¹ , 安藤沙友里 ² , 岩川秀和 ³ , 小島晶子 ² , 町田泰則 ⁴ , 町田千代子 ² (¹ 弘前大・農生, ² 中部大応用生物, ³ 金沢大・理工研究, ⁴ 名大院・理・生命)	3aE02 ダイズ根圏イソフラボン異化経路のゲノムワイドメタゲノム解析 島崎智久 ^{1,2} , 増田幸子 ³ , 柴田ありさ ³ , 能勢結衣 ¹ , 佐藤友昭 ⁴ , 杉山暁史 ⁴ , 白須賢 ³ , 市橋泰範 ¹ (¹ 理研・BRC, ² 北大・院理, ³ 理研・CSRS, ⁴ 京都大・生存研)
09:30	3aA03 シロイヌナズナのヘキサデセン酸が光化学系IIの光阻害に果たす役割 末岡一益, 神保晴彦, 和田元(東大・院総合文化)	3aB03 ㊦ An Evolutionarily Conserved Long-distance Mobile Peptide Regulates Lignin Biosynthesis and Plant Immunity Ying-Lan Chen (National Cheng Kung University)	3aC03 ㊦ <i>A. thaliana</i> root adaptation to sucrose supply and osmotic treatments, and future application to moss Liyu Deng ¹ , Yunshu Wang ² , Yuta Nakagawa ³ , Aguilar Ariza Andres ² , Shumpei Hayashi ⁴ , Akihiro Isozaki ⁵ , Keisuke Goda ^{3,6,7} , Hirotaka Hida ⁵ , Toru Fujiwara ² , Tomomichi Fujita ⁴ , Marcel Beier ⁸ (¹ Grad. Sch. Life Science, Hokkaido University, ² Dep. Appl. Biol. Chem., Grad. Sch. Agri. Life Sci., The University of Tokyo, ³ Dep. Chem, Grad. Sch. Sci, The University of Tokyo, ⁴ Fac. Sci. Hokkaido University, ⁵ Dep. Mech. Eng., Grad. Sch. Kobe University, ⁶ Dep. Bioeng. Samuelli Sch Eng. University of California, ⁷ Inst. Tech. Sci., Wuhan University, ⁸ Inst. Adv. Higher Edu, Hokkaido University)	3aD03 シロイヌナズナの核小体ストレス応答におけるANAC082を介した細胞増殖制御の解析 大林祝 ^{1,2} , 許泰瑛 ¹ , 江柏稔 ¹ , 岩元明敏 ³ , 大谷将彦 ⁴ , 杉山宗隆 ⁵ (¹ 台湾)成功大・生命科学, ² 台湾)成功大・熱帯研, ³ 神奈川大・理・生物, ⁴ 熊本大・IROAST, ⁵ 東京大・院・理)	3aE03 α-トマンチンにより根圏で増加するスフィンゴビウム属細菌のトマト根への定着機能 高松恭子 ¹ , 中安大 ¹ , 山崎真一 ^{2,3} , 青木裕一 ^{2,4} , 小林優 ⁵ , 伊福健太郎 ⁵ , 矢崎一史 ¹ , 杉山暁史 ¹ (¹ 京都大・生存研, ² 東北大・ToMMo, ³ 理研・BRC, ⁴ 東北大・院情報, ⁵ 京都大・院農)
09:45	3aA04 シアノバクテリア光化学系IIの修復におけるガラクトリパーゼの役割 神保晴彦, 和田元(東大・院総合文化)	3aB04 細胞壁関連遺伝子XYLANASE1を介した乾燥耐性の制御 遠藤暁詩 ¹ , 福田裕徳 ^{1,2} (¹ 京都先端大・バイオ環境, ² 秋田県立大)	3aC04 シロイヌナズナにおける薄層ムシレーゾカプセル形成変異体の解析 國枝正 ¹ , George W. Haughn ² , 西村いくこ ³ (¹ 奈良先端大・バイオ, ² プリティッシュコロンビア大・植物, ³ 南大・理工)	3aD04 植物におけるキネトコア分子構造基盤 Pettkó-Szandner Aladár ¹ , Zoltán Magyar ¹ , 小牧伸一郎 ² (¹ BRC, Szeged, Hungary, ² 奈良先端大・バイオ)	3aE04 シロイヌナズナの根分泌物に含まれる土壌微生物による植物生長抑制ストレスを低減する活性の探索 村田純, 森祥子, 延原美香, 豊永宏美, 大澤月穂, 渡辺健宏(公益財団法人サントリー生命科学財団)
10:00	3aA05 NPQ7はC ₄ 種 <i>Flaveria bidentis</i> において光化学系IIの安定性とチラコイド膜の維持に関与する 石崎亜衣 ¹ , 孝子紗也佳 ¹ , 田中亮一 ² , 高林厚史 ² , 大井崇生 ³ , 伊福健太郎 ⁴ , 宗景ゆり ¹ (¹ 関学大・院理工, ² 北大・低温科学研究所, ³ 名古屋大・農, ⁴ 京大・農)	3aB05 ㊦ Gibberellins promote seed conditioning by up-regulating strigolactone receptors in the parasitic plant <i>Striga hermonithica</i> Jia Xin Yap, Yuichiro Tsuchiya (ITbM, Nagoya University)	3aC05 キバナノセッコクにみられるグルコマンナン液胞蓄積 菊地愛美 ¹ , 西垣南歩 ¹ , 厚沢季美江 ² , 小野真央 ³ , Chuan-Ming Yeh ⁴ , Wen-Chieh Tsai ⁵ , 石水綾 ³ , 金子康子 ⁶ , 高橋大輔 ¹ , 小竹敬久 ¹ (¹ 埼玉大・院・理工, ² 埼玉大・科学分析支援センター, ³ 立命館大・生命科学, ⁴ 台湾中興大・生命科学研究所, ⁵ 台湾成功大・熱帯植物微生物学研究所, ⁶ 埼玉大・教育)	3aD05 経時的遺伝子発現変化から理解する苔類ゼニゴケの胞子発芽過程 酒井友希 ¹ , 島津舜治 ^{1,2} , 近藤侑貴 ¹ , 深城英弘 ¹ , 石崎公庸 ¹ (¹ 神戸大・院・理, ² 東大・院・理)	3aE05 機械学習を用いた画像解析によるシロイヌナズナ根の表現型定量技術の開発 高木桃子 ^{1,2} , 岡崎まなみ ² , Liu Xinpeng ³ , 晝間敬 ² , 大倉史生 ³ , 戸田陽介 ^{1,4} (¹ 名古屋大・ITbM, ² 東京大・院総合文化, ³ 大阪大・院情報科学, ⁴ 株式会社フィットメトリクス)
10:15	3aA06 多様な木本植物における光合成特性と光化学系IIの光阻害防御機構に関する研究 辻祥子 ¹ , 小林優 ¹ , 伊福健太郎 ¹ , 彦坂幸毅 ² (¹ 京都大・院農学, ² 東北大・院生命)	3aB06 ジベレリンシグナルの精密な制御によるシロイヌナズナの根の成長メカニズムの解明 八神祐一郎 ¹ , 山田遼太郎 ¹ , 石川優真 ² , 萩原伸也 ³ , 中村匡良 ⁴ (¹ 名古屋大・院理学研究科, ² デュッセルドルフ大・理研・環境資源科学センター, ⁴ 名古屋大・ITbM)	3aC06 低温馴化および脱馴化における細胞壁変化は凍結耐性と生長に関わる 久津野達也, 小竹敬久, 高橋大輔(埼玉大・院・理工)	3aD06 花粉発生過程のライブイメージングと分裂誘導による雄原細胞の分化機構の解明 永原史織 ^{1,2} , 丸山大輔 ³ , 山岡平 ⁴ , 水多陽子 ^{2,5} (¹ 京大・院・理, ² 名大・ITbM, ³ 横浜市大・木原生研, ⁴ 京大・院・生命科学, ⁵ 名大・高等研)	3aE06 糸状菌 <i>Colletotrichum tofieldiae</i> の病原/共生型株による宿主シロイヌナズナ根への侵入様式の比較 比嘉毅, 中村雅未, 晝間敬(東京大・院総合文化)

F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光受容体/光応答	生体膜・イオン・物質輸送	発生・形態形成	ゲノム機能・遺伝子発現制御			
<p>3aF01 短波長シフトを示す phyC は phyB が機能する下限の red:far-red 光条件下で胚軸伸長を抑制する 吉原静恵^{1,2}, 岡島公三³, 徳富智²(¹大阪大・院理, ²大阪府大・院理, ³慶應大・理工)</p>	<p>3aG01 ホスファチジルイノシトール 4,5-二リン酸は花粉の発芽に必須である 加藤真理子¹, 亘真智子¹, 植田知彦¹, ソンシェン², グホンヤ², キューリージャ², 藤原崇志¹, 青山卓史¹(¹京大・化研, ²京北大)</p>	<p>3aH01 シングルセルトランスクリプトーム解析で表皮起源シュート再生における分化細胞のリプログラミング機構を探る 森中初音¹, 石東博^{1,2}, 河村彩子¹, 鈴木孝征³, 岩瀬哲¹, 東山哲也⁴, 杉山宗隆⁴, 杉本慶子^{1,4}(¹理研・CSRS, ²ボツダム大学・生化学・生物学研究所, ³中部大・応用生物・応用生物化学, ⁴東京大・院・理・生物科学)</p>	<p>3aX01 窒素固定シアノバクテリア <i>Calothrix</i> sp. NIES-4101 のヘテロシスト分化における 7 回の切り出しと 2 回の反転イベントを介した <i>nif</i> 遺伝子クラスターの再構築 土坂一馬¹, 馬場真里¹, 千葉庄太郎¹, 藤田祐一(Grad. Sch. Bioagricultural Sciences)</p>	シンポジウム S O 9 生物の多様な生命金属戦略 (9:00-11:50)		09:00
<p>3aF02 青色光に応答した細胞膜 H⁺-ATPase の活性化が阻害された突然変異体の単離と機能解析 富士彩紗¹, 山内翔太^{1,2}, 武宮淳史¹(¹山口大・院創成科学, ²東京理科大・創域理工)</p>	<p>3aG02 生殖成長期における AtHKT1 の雄しべ伴細胞における Na 蓄積の緩和 内山剛志¹, 齋藤俊也¹, 山梨太郎¹, 加藤忠¹, 高木智子², 永田典子², 遠山翔³, 三輪美沙子³, 松山成男³, 池田隼人⁴, 菊永英寿⁴, 須田利美⁴, 辻井雅¹, 石丸泰寛¹, 魚住信之¹(¹東北大学大学院 工学研究科 バイオ工学専攻, ²日本女子大学理学部, ³東北大学大学院 工学研究科 量子エネルギー専攻, ⁴東北大学電子光物理学研究センター)</p>	<p>3aH02 ㊦ Analysis of regeneration control by the MAP kinase MpMPK1 in <i>Marchantia polymorpha</i> Rika Yanuki, Shota Yamauchi, Ryuichi Nishiyama (Dept. Appl. Biol. Sci., Fac. Sci. Tech., Tokyo Univ. Sci.)</p>	<p>3aX02 ㊦ Molecular mechanisms to control the oxygen paradox in the nitrogen-fixing cyanobacterium <i>Leptolyngbya boryana</i>: Genetic analysis in the 50-kb <i>nif</i> gene cluster Sara Bakri, Mari Banba, Haruki Yamamoto, Hiroya Kotani, Kazuma Uesaka, Yuichi Fujita (Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University)</p>			09:15
<p>3aF03 青色光に反応したデンプン分解を介した気孔開口の分子機構の解明 生田大貴¹, 山内翔太², 武宮淳史²(¹山口大・理, ²東京理科大・創域理工, ³山口大・院創成科学)</p>	<p>3aG03 硫酸イオン輸送体 SULTR2;1 は主茎への硫酸イオン輸送を介して抽台時期を調節する Khamsalath Soudthelath¹, 中村俊貴¹, 深澤壽太郎², 刑部敬史³, 刑部祐里子⁴, 丸山明子¹(¹九州大・院農, ²広島大・院統合生命科学, ³徳島大・院社会産業理工, ⁴東工大・院生命理工)</p>	<p>3aH03 シュート再生過程において WOX 転写因子が制御する細胞動態の解析 ドル有生¹, 池内桃子(奈良先端大・バイオ)</p>	<p>3aX03 NLR を介した植物免疫における非翻訳性長鎖 RNA の役割 茅野美咲希¹, 松永拓朋¹, 上田裕大¹, 土屋徳司²(¹日本大・院応用生命, ²日本大・生物資源)</p>			09:30
<p>3aF04 気孔開口を抑制する化合物とその誘導体を用いた新規気孔開口シグナル伝達因子の探索 桑山翔梧¹, 高橋宏二¹, 林優紀¹, 深津孝平¹, 林真妃², 佐藤綾人³, 木下俊則^{1,3}(¹名古屋大・院生命理学, ²東北大・院生命科学, ³名古屋大・ITbM)</p>	<p>3aG04 カスバリー線はアポプラストを介した過剰なホウ素の中心柱への拡散を抑制する 室啓太¹, 神代滋央², 高野順平¹(¹大阪公立大・院農, ²大阪府立大・院生命環境)</p>	<p>3aH04 WOX13 は根の制御遺伝子の発現抑制を介してカスルの多能性獲得を負に制御する 大平えり¹, 池内桃子(奈良先端大・バイオ)</p>	<p>3aX04 シロのアントシアニン生合成には特定のホメオログで構成される転写因子複合体が関与する 古屋百穂¹, 杉山龍介^{1,2}, 柿山風花¹, 山崎真巳^{1,3}(¹千葉大院薬, ²JST さきがけ, ³千葉大植物分子科学セ)</p>			09:45
<p>3aF05 ゼニゴケの葉緑体逃避反応誘導時に生じるフォトロピンの分子間自己リン酸化の解析 野口徳^{1,2}, 見玉豊^{1,2}(¹宇都宮大・バイオセンター, ²宇都宮大院・地域創成科学)</p>	<p>3aG05 西日本の貧栄養土壌に生育する単子葉植物のダウシフォーム根の形成能と養分吸収特性 和崎淳^{1,2,3,4}, 栢田元気¹, 松山理絵², 丸山隼人^{1,5}, 中坪孝之^{1,2,3}, 井上竜輔³, 山本晃弘⁶, 渡部敏裕⁵(¹広島大・院生物圏, ²広島大・総合科学, ³広島大・院統合生命, ⁴広島大・瀬戸内CN国際共同研究センター, ⁵北大・院農, ⁶広島市植物公園)</p>	<p>3aH05 ㊦ Brassinosteroid receptor-mediated regulation of tissue regeneration in <i>Arabidopsis</i> Ye Zhang¹, Kazuki Suita¹, Naoki Takahashi², Masaaki Umeda¹(¹Grad. Sch. Sci. & Tech., Nara Institute of Science and Technology, ²Dep. Life Sci., Sch. Agr., Meiji Univ.)</p>	<p>3aX05 シロイヌナズナ精細胞における「解せない」現象: コードしているタンパク質の細胞内局在性に依存する選択的な導入遺伝子サイレンシング 大西由之佑^{1,2}, 河島友和¹(¹ケンタッキー大・植物土壌科学, ²都立大・院理学)</p>			10:00
<p>3aF06 UVB 誘導性葉緑体定位運動とその生理学的意義 大竹穂¹, 末次憲之², 武宮淳史², 後藤栄治⁴, 和田正三⁵, 日出間純¹(¹東北大・院生命科学, ²東京大・院総合文化, ³山口大・院創成科学, ⁴九州大・院農学, ⁵東京都立大・院理学)</p>	<p>3aG06 三価鉄還元酵素及びニコチアミン生合成酵素遺伝子を導入し、鉄欠乏耐性を付与したポプラの作出 増田寛志¹, 成田匠¹, メイサン アウン¹, 前田慶介², 坂本真吾³, 小林高純², 勝田幹也¹, 小川敦史¹, 頼泰樹¹, 松本武彦¹, 服部浩之¹, 光田展隆³, 西澤直子²(¹秋田県立大, ²石川県立大, ³産総研)</p>	<p>3aH06 3つの異なる組織培養系における植物細胞の脱分化に伴う核小体の発達の顕微鏡観察と薬理学的解析 森川麗¹, 米倉崇晃¹, 森中初音², 鳥津舜治^{1,3}, 近藤侑貴³, 大林祝^{4,5}, 杉山宗隆¹(¹東京大学・院・理・生物科学, ²理研・CSRS, ³神戸大・院・理・生物, ⁴国立成功大・生命科学, ⁵国立成功大・熱帯植物研)</p>	<p>3aX06 ㊦ SigP1-dependent activation of the <i>pilA1</i> promoter and the promoter sequence determinants in a cyanobacterium <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 Ying Luo^{1,2}, Yu Hirose³, Kan Tanaka²(¹Sch. Life. Sci. and Tech., Tokyo Tech, ²Chem. and Life. Sci., Inst. innov. Res., Tokyo Tech, ³Dept of Appl. Chem. and Life Sci., Toyohashi Tech)</p>			10:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月19日(火) 午前(9:00-12:00)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
	光合成	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	細胞壁	細胞周期・分裂	植物生物間相互作用B
10:30	3aA07 比較ゲノム解析により明らかとなった、 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 におけるユニバーサルストレスタンパク質のステート遷移制御機能 福永津嵩 ¹ , 小川敬子 ^{2,3} , 岩崎渉 ⁴ , 園池公毅 ² (¹ 早大・高等研, ² 早大・教育総合科学, ³ 埼玉大・理工学, ⁴ 東大・新領域・先端生命)	3aB07 DELLA を介した ABA と GA のクロストーク機構 小此木のぞみ, 谷永悠季, 中林誠太郎, 高橋陽介, 深澤壽太郎(広島大・院統合生命)	3aC07 イワヒバが示す乾燥耐性は, トレハロースよりも細胞壁に起因する可能性がある 菊地拓真 ¹ , 大橋桃花 ² , 金子康子 ³ , 小竹敬久 ¹ , 高橋大輔 ¹ (¹ 埼玉大・院・理工, ² 埼玉大・理・分子生物, ³ 埼玉大・教育・自然科学)	3aD07 シロイヌナズナの減数分裂期サイクリン SDS の花粉母細胞での細胞内局在 安積良隆, 藤村達真(神奈川大・理学部)	3aE07 ㊦ Root Endophyte <i>Colletotrichum tofieldiae</i> Recruits Beneficial Bacteria To Roots And Promotes Plant Growth By Facilitating Plant Nitrogen Uptake Under Nitrogen-Limiting Conditions Tan Anh Nhi Nguyen, Masami Nakamura, Koji Tokunaga, Kei Hiruma (Grad. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo)
10:45	3aA08 ホスファチジルグリセロールは葉緑体の遺伝子発現制御にどのように関与するのか 野戸康生 ¹ , 小林康一 ² , 川島祐介 ³ , 石川将己 ³ , 藤井祥 ¹ (¹ 弘前大・農学生命科学, ² 大阪公立大・国際基幹教育, ³ かざさ DNA 研)	3aB08 ㊦ EIN3-independent activation of B3-Raf kinase by the EIN2-like Nrapm-family protein in regulating the ABA responses in the moss <i>Physcomitrium patens</i> Md. Masudul Karim ^{1,3} , Kanata Hirota ¹ , Miyabe Marcos Takeshi ² , Yoichi Sakata ² , Daisuke Takezawa ¹ (¹ Graduate School of Science and Engineering, Saitama University, Saitama, 338-8570, Japan, ² Department of Bioscience, Tokyo University of Agriculture, 1-1-1 Sakuragaoka, Setagaya-ku, Tokyo 156-8502, Japan, ³ Department of Crop Botany, Bangladesh Agricultural University, Mymensingh-2202, Bangladesh)	3aC08 スギ木部細胞の二次壁形成に関わる転写因子の探索 佐藤良介 ¹ , 七里吉彦 ¹ , 永野聡一郎 ² , 長谷賢一 ¹ , 谷口亨 ¹ , 高田直樹 ¹ (¹ 森林総研・森林バイオ, ² 森林総研・林育セ)	3aD08 ㊦ CHH hypermethylation at 24PHAS loci during meiosis in rice male meiocytes Huong Ta ¹ , Taiji Kawakatsu ² , Atsushi Toyoda ³ , Mutsuko Nakano ¹ , Ken-Ichi Nonomura ^{1,4} (¹ Plant Cytogenet., NIG, ² Inst. Crop Sci., NARO, ³ Comparative Genet., NIG, ⁴ SOKENDAI)	3aE08 葉に棲息し気孔動態を制御する細菌が植物に与える有益な影響 平田梨佳子 ¹ , 高木桃子 ² , Yuniar Devi Utami ³ , 晝間敬 ³ , 戸田陽介 ^{2,4} , 峯彰 ¹ (¹ 京都大院・農, ² 名古屋大・ITbM, ³ 東大院・総合, ⁴ (株)フィットメトリクス)
11:00	3aA09 クラミドモナスの炭酸固定加速装置ビレノイドの構造形成における葉緑体 DNA の役割の解析 金澤晴樹, 川島愛音, 田草川真理, 鹿内利治, 西村芳樹(京大・院理学)	3aB09 ㊦ Reactive carbonyl species production mediated by endogenous abscisic acid in methyl jasmonate induced stomatal closure Oumayma Shaiek ¹ , Toshiyuki Nakamura ¹ , Yoshimasa Nakamura ¹ , Jun'ichi Mano ² , Shintaro Munemasa ¹ , Yoshiyuki Murata ¹ (¹ Grad. Sch. of Environ. Life Sci., Okayama Univ., ² Science Research Center, Yamaguchi University)	3aC09 高時間解像度トランスクリプトーム解析によって明かされた新たな道管細胞分化の転写制御戦略 山本篤 ¹ , 佐野亮輔 ² , 出村拓 ^{2,3} , 大谷美沙都 ^{1,2,3} (¹ 東京大・院・新領域, ² 奈良先端大・バイオ, ³ 理研CSRS)		3aE09 ㊦ Understanding multiple association parasitism dynamics using root hemiparasite <i>Phtheirospermum japonicum</i> and host(s) <i>Arabidopsis thaliana</i> grown in split-root systems with isotope tracing Clarissa F. Frederica ¹ , Louis J. Irving ² (¹ Grad. Sch. Sci. Tech., Univ. of Tsukuba, ² Fac. Life Environ. Sci., Univ. of Tsukuba)
11:15	3aA10 塩基置換型ゲノム編集によるシロイヌナズナ PsbP-D139N 変異体の作出と表現型解析 今泉暁 ¹ , 有村慎一 ² , 伊福健太郎 ¹ (¹ 京大・院・農, ² 東大・院・農生)	3aB10 大規模トランスクリプトームによるサリチル酸/ジャスモン酸に対する濃度依存的応答の解析 窪田敦幹 ^{1,2} , 前田太郎 ^{2,3} , 森山(毛利)奈津美 ³ , 野村康之 ³ , 栗田悠之 ⁴ , 鹿島謙 ⁵ , 富田勝 ¹ , 別役重之 ⁶ , 永野博 ^{2,3,6} (¹ 慶應大・環境情報, ² 慶應大・IAB, ³ 龍谷大・食農研, ⁴ 東大・農, ⁵ 東邦大・理, ⁶ 龍谷大・農)	3aC10 ㊦ Functional analysis of microRNAs involved in xylem vessel cell differentiation in Arabidopsis Chotiros Phaisomboon ^{1,2} , Tian Tian Tan ³ , Ryosuke Sano ² , Taku Demura ^{3,4} , Misato Ohtani ^{1,3,4} (¹ Grad Sch Front Sci, Univ Tokyo, Japan, ² Inst Mol Biosci, Mahidol Univ, Thailand, ³ Div Biol Sci, Grad Sch Sci Tech, NAIST, Japan, ⁴ RIKEN CSRS, Japan)		3aE10 モデル寄生植物コシオガマを使用した吸器阻害物質の作用機序の解明 菅咲桜里 ¹ , 井上峻雅 ¹ , 佐藤綾人 ² , 鈴木孝征 ³ , 吉田聡子 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 名古屋大・ITbM, ³ 中部大・院応用生物学)
11:30	3aA11 チラコイドに局在するダイナミン様タンパク質 FZL の多面的な生理機能 小川山 ¹ , 岩野恵 ² , 川本見大 ³ , 栗栖源嗣 ³ , 鹿内利治 ⁴ , 坂本亘 ¹ (¹ 岡山大・植物研, ² 京都大・生命科学, ³ 大阪大・蛋白質研, ⁴ 京都大・理・生物)	3aB11 新規ブラシノステロイドシグナル伝達因子 BIL7 による転写因子制御機構の解明 西田快世 ¹ , 仲村友介 ¹ , 山上あゆみ ¹ , 鈴木健裕 ² , 宮川拓也 ¹ , 松井南 ² , 藤岡昭三 ² , 浅見忠男 ³ , 中野雄司 ¹ (¹ 京大院・生命, ² 理研・CSRS, ³ 東大院・農生科)	3aC11 ㊦ Xyloglucan endotransglucosylase/hydrolase genes may contribute to tissue adhesion during graft healing Mu Xiong ^{1,2} , Ting Zhang ¹ , Xin Qian ¹ , Ling Li ¹ , Zhilong Bie ¹ , Ken-ichi Kurotani ³ , Yuan Huang ¹ , Michitaka Notaguchi ^{2,3,4} (¹ Grad. Sch. Hort. For., Univ. Huazhong Agri., ² Grad. Sch. Bioagri. Sci., Univ. Nagoya, ³ Biosci. Biotech. Center, Univ. Nagoya, ⁴ Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto)		3aE11 寄生植物コシオガマにおける侵入細胞分化機構の解析 伊藤千陽 ¹ , Songkui Cui ² , 鈴木孝征 ³ , 吉田聡子 ¹ (¹ 奈良先端大・バイオ, ² 昆明植物研究所, ³ 中部大・応用生物学)
11:45		3aB12 イチゴにおけるストロゴラクトン受容体 D14 の機能解析 吉田梨乃 ¹ , 宮地朋子 ² , 藤泰子 ¹ , 南杏鶴 ^{3,4} , 持田恵一 ^{3,4} , 古田忠臣 ¹ , 城所聡 ¹ , 刑部敬史 ² , 刑部祐里子 ¹ (¹ 東工大・生命理工, ² 徳島大院・社会産業理工, ³ 理研・環境資源科学研究センター, ⁴ 横浜国立大・木原研)	3aC12 ㊦ Chemical screening to identify graft promoting molecules in Fabaceae Qianqian Luo ¹ , Xueyao Shu ¹ , Ayato Sato ² , Yaichi Kawakatsu ³ , Ryoko Morinobe ¹ , Lalita Jantean ¹ , Hejin Son ¹ , Ken-ichi Kurotani ³ , Michitaka Notaguchi ^{1,3,4} (¹ Grad. Sch. Bioagri. Sci., Univ. Nagoya, ² Inst ITbM., Univ. Nagoya, ³ Biosci Biotech Center, Univ. Nagoya, ⁴ Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto)		3aE12 寄生植物アメリカネナシカズラの光依存的宿主認識の遺伝子発現解析 横山俊哉 ¹ , 渡辺明 ² , 浅岡真理子 ² , 西谷和彦 ² (¹ 神奈川大・院理学, ² 神奈川大・理)

F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
光受容体/光応答	生体膜・イオン・物質輸送	発生・形態形成	ゲノム機能・遺伝子発現制御			
<p>3aF07 CDKA が光応答を制御する新たな仕組みの解明 宮崎朋多¹, 井上夏実², 石川雅樹³, 長谷部光泰³, 関根政実⁴, 藤田知道²(¹北大・院生命科学, ²北大・院理, ³基生研・生物進化, ⁴石川県大・生物資源環境)</p>	<p>3aG07 オートファジーはイネ水田群落の下位葉におけるタンパク質分解に寄与し垂直の葉身窒素勾配を形成する 菊地凌, 石田宏幸(東北大・院農)</p>	<p>3aH07 ゼニゴケのシトクロム <i>b₅</i> 様ヘム結合タンパク質 MpRFL は栄養成長と生殖成長における適切な発生に必要である 岩田健太郎¹, 福村日向丸¹, 酒井友希¹, 古谷朋之^{1,2}, 近藤侑貴¹, 石崎公庸¹, 深城英弘¹(¹神戸大・院・理, ²立命館大・生命)</p>	<p>3aX07 80S リボソームによる 5'非翻訳領域のスライディング機構 田中真幸¹, 横山武司^{2,3}, 齊藤大寛^{4,5}, 反田直之⁶, 白水美佳子³, 岩崎信太郎^{4,5}, 伊藤拓宏³, 藤原徹⁶(¹大阪公立大・院農, ²東北大・院・生命, ³理研・BRD, ⁴理研・CPR, ⁵東大・院・新領域, ⁶東大・院・農)</p>	<p>シンポジウム S09 生物の多様な生命金属戦略 (9:00-11:50)</p>		10:30
<p>3aF08 ゼニゴケの B4 型 Raf-like kinase PRAF の細胞内局在の解析 山内翔太¹, 半田和華¹, 新宅明日架², 小出絵理², 岩野恵², 河内孝之², 西浜竜一¹(¹東京理科大 創域理工 生命生物, ²京都大院 生命科学)</p>	<p>3aG08 イネの OsbZIP はリン吸収と窒素利用を制御し収量増に寄与する 田中伸裕¹, 吉田紗貴², Saiful Islam², 山崎清志², 藤原徹², 大森良弘³(¹農研機構作物研究部門, ²東京大学大学院農学生命科学研究科, ³東京大学大学院農学生命科学研究科アグリバイオインフォマティクス教育ユニット)</p>	<p>3aH08 岩類ゼニゴケの細胞膜 H⁺-ATPase による形態形成制御の分子機構解析 水谷未耶^{1,2}, 中根功太郎², 奥村将樹², 楊為雄², 田中周², 井上普一郎², 藤原徹³, 神谷岳洋³, 反田直之³, 西浜竜一⁴, 石崎公庸⁵, 木下俊則^{1,6}(¹奈良先端大・バイオ, ²名古屋大・院・理学, ³東大・院・農学, ⁴東京理科大・創域理工・生命生物, ⁵神戸大・院・理学, ⁶名古屋大・ITbM)</p>	<p>3aX08 ㊦ Effect of ribosomal mutations that suppress the phenotype of a thermospermine-requiring mutant on the translation regulation of uORF-containing mRNAs in <i>Arabidopsis</i> Tomohiko Toyoshima, Yuichi Nishii, Kouki Mutsuda, Taku Takahashi (Grad. Sch., Univ. Okayama)</p>			10:45
<p>3aF09 AtCFI は pre-mRNA の 3'UTR 切断部位の多様性を担保する 張曉娟¹, Lukasz Szewc², Mateusz Bajczyk², David Bielewicz², 由良敬^{4,5,6}, 大土井実都¹, 加藤真理子¹, Marta Garcia-León⁷, Vicente Rubio⁷, 野元美佳⁸, 多田安臣⁹, 古本強⁹, Zofia Szweykowska-Kulińska², Dorothee Staiger¹⁰, 青山卓史¹, Artur Jarmolowski², 植植知彦¹(¹京大・化研, ²Adam Mickiewicz 大・Inst. Mol. Biol. Biotech., ³WCAT, ⁴早大・先進理工, ⁵お茶大・院人間文化創成科学, ⁶お茶大・文理融合AIデータサイエンス, ⁷CNB-CSIC, ⁸名大・遺伝子, ⁹龍大・農, ¹⁰Bielefeld 大・Biology)</p>	<p>3aG09 DIY インセクター装置によるイネの篩管液採取法の開発 山直樹, 新屋友規, 三谷奈見季, Ivan Galis, 馬建鋒(岡山大・植物研)</p>	<p>3aH09 植物の新規シュート再生系に関するクロマチンリモデリング因子の網羅的解析 堀江綾香¹, 坂本卓也², 佐藤輝¹, 乾弥生¹, 鈴木稔³, 松永幸大¹(¹東大・院・新領域・先端生命, ²神奈川大・理・理, ³東大・院・新領域・メディカル情報生命)</p>	<p>3aX09 シロイヌナズナのサーモスベルミン応答変異は SAC51 ファミリーの mRNA 翻訳に影響を及ぼす 皿海充, 田中貴啓, 高橋卓(岡山大院・環境生命自然科学)</p>			11:00
<p>3aF10 ビリルビンは葉緑体内で非酵素的に生産される 石川一也^{1,2}, 謝肖男¹, 宮脇敦史³, 沼田圭司^{4,5}, 児玉豊^{2,5}(¹岡山大・院医歯薬, ²宇都宮大・バイオセンター, ³理研 CBS, ⁴京大院・工学, ⁵理研 CSRS)</p>	<p>3aG10 ジャジモ (<i>Chara braunii</i>) 細胞膜 Na⁺ 共役型リン酸輸送体分子の機能解析 三村徹郎^{1,2}, 藤原ひとみ², 村西直樹², 大西美輪^{2,3}, 西山智明⁴, 菅野里美⁵, 石崎公庸², 深城英弘², 坂山英俊², リードロバート⁶, 且原真木⁷(¹京大先端科学大・バイオ環境, ²神戸大院・理, ³京大院・理, ⁴金沢大・疾患モデル総合研究センター, ⁵名古屋大・高等研究院, ⁶アデレード大・理工, ⁷岡山大・植物研)</p>	<p>3aH10 ヒストン脱メチル化酵素 LDL3 の相互作用因子の探索 半田和華¹, 佐藤輝¹, 坂本卓也², 野澤彰³, 澤崎達也³, 松永幸大¹(¹東大・院・新領域・先端生命, ²神奈川大・理・理, ³愛媛大・PROS)</p>	<p>3aX10 ㊦ An Inner Dinochromosome Compartment Joseph Tin Yum Wong, Alvin Chun Man Kwok, Kosmo Hing Ting Yan, Chongping Li (Hong Kong University of Science And Technology)</p>			11:15
<p>3aF11 カロテノイド組成改変により明らかになったユーグレナのユニークな眼点と光走性 玉木峻¹, 加藤翔太², 尾笹一成³, 篠村知子⁴, 持田恵一^{1,5,6,7}(¹理研・CSRS, ²Symbiobe (株), ³理研・RAP, ⁴帝京大・理工・バイオ, ⁵理研・BZP, ⁶横浜市大, ⁷長崎大)</p>	<p>3aG11 コケ植物ゼニゴケのリン吸収における仮根の機能について 菅野里美¹, 福村日向丸², 喜多晴哉², 佐藤しおり², 酒井友希², 三村徹郎^{2,3}, 近藤侑貴², 深城英弘², 石崎公庸²(¹名古屋大・高等研究院, ²神戸大・院・理, ³京大先端科学大・バイオ環境)</p>	<p>3aH11 ㊦ Analysis of a blue light receptor CRY1 during plant regeneration Min Li¹, Hikaru Sato¹, Takuya Sakamoto², Yayoi Inui¹, Kazunari Yamamoto¹, Tomonao Matsushita³, Sachihiko Matsunaga¹(¹Grad. Sch. of Front. Sci., Univ. Tokyo, ²Grad. Sch. Sci., Univ. Kanagawa, ³Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto)</p>				11:30
<p>3aF12 緑藻フタツノクンシヨウモの光・温度依存的な群体細胞数の制御 正木重嘉理^{1,2}, 篠村知子³, 児玉豊^{1,2}(¹宇都宮大・バイオセンター, ²宇都宮大院・地域創生, ³京大・理工)</p>	<p>3aG12 ㊦ Exploring the intercellular plasmodesmal protein transport in <i>Marchantia polymorpha</i> Kuan-Ju Lu, Chia-Yun Hsu, Pin-Lun Lin, Chia-Huan Hsu, Hui-Yu Chang (Graduate Institute of Biotechnology, NCHU)</p>	<p>3aH12 ㊦ HY5 determines the new meristem fate in response to light signals during <i>de novo</i> organogenesis Yu Chen^{1,2}, Yetkin Çaka Ince², David S. Favero², Ayako Kawamura², Takamasa Suzuki³, Keiko Sugimoto^{1,2}(¹Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo, ²CSRS, RIKEN, ³Col. Biosci. Biotech., Chubu Univ.)</p>				11:45

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月19日(火) 午後(13:30-16:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
	光合成				植物生物間相互作用B
13:30	<p>3pA01 シロイヌナズナ葉緑体型グルタミン合成酵素 GS2 欠損株 <i>glm2-3</i> の光合成は光呼吸環境に半順化する 佐藤勇斗¹, 和田慎也¹, 石山敬貴², 北川春香¹, 丸田隆典³, 三宅親弘¹ (1神戸大・院農, 2東北大・院農, 3島根大・生資科)</p>				<p>3pE01 魚類胚における藻類の潜在的な適応能力の解明 岡部耀二¹, 尾田正二¹, 園池公毅², 乾弥生¹, 松永朋子¹, 丸山真一朗¹, 松永幸大¹ (1東大・院新領域, 2早稲田大・教育)</p>
13:45	<p>3pA02 窒素飢餓下における海洋性珪藻の CCM 発現応答 天野桃花, 嶋川銀河, 松田祐介 (関学大・院生命)</p>				<p>3pE02 盗葉緑体生物の比較オミクスによる環境応答解析 前田太郎¹, 森大², 永野博^{1,3} (1慶應大・先端生命研, 2龍谷大・農, 3名大・未来社会)</p>
14:00	<p>3pA03 ㊦ Fluorescence transient shape provide information on phytoplankton growth rate, pigment content, and photoacclimation strategy Matthew Brown, Yusuke Matsuda (Kwansei Gakuin University)</p>				<p>3pE03 ㊦ Genome-wide association study of rice cultivation related with iron-reducing bacteria abundance in paddy soils Li-Yen Lin¹, Zhihang Feng¹, Hikaru Asano², Yoshihiro Ohmori³, Hiroto Ohba⁴, Yoko Masuda^{1,5}, Keishi Senoo^{1,5}, Toru Fujiwara¹ (1Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, 2Tokyo Coll. Biotech., 3Agri. Bioinfo. Res. Unit, Grad. Sch. Agr. Life Sci., Univ. Tokyo, 4Niigata Agr. Res. Inst., 5Collab. Res. Inst. Innov. Micro., Univ. Tokyo)</p>
14:15	<p>3pA04 フェレドキシン-NADP⁺酸化還元酵素の FAD にスタックした Tyr 残基の機能: 光感受性の制御と還元型 FAD の安定化 瀬尾徳介 (金沢大・理工・物質化学)</p>				<p>3pE04 イネにおける免疫受容体および共生制御因子を介した細菌共生の制御 永易将弘¹, 井上加奈子¹, 木戸将太¹, 佐藤昌直², 藤雅子¹, 鈴木雄心¹, 村上匠³, 渡邊むつみ¹, 峠隆之¹, 西條雄介¹ (1奈良先端大・バイオ, 2北海道大・農, 3東工大・生命理工)</p>
14:30	<p>3pA05 シアノバクテリア <i>Leptolyngbya boryana</i> における細胞外小胞を介したクロロフィル合成中間体分泌機構 臼井健太郎¹, 山本治樹¹, 大井崇生¹, 谷口光隆¹, 森仁志^{1,2}, 藤田祐一¹ (1名古屋大・生命農, 2名古屋大・糖鎖生命コア研究所)</p>				<p>3pE05 <i>Rhizobium</i> 属根粒菌とミヤコグサとの根粒形成制御 川原田泰之 (岩手大・農)</p>
14:45	<p>3pA06 飽和パルス光を用いた低温ストレス時の光化学系 I への電子流入量と光化学系 I 光阻害の評価 竹内航¹, 播本慎太郎², 和田慎也³, 三宅親弘³, 伊福健太郎¹ (1京大院・農, 2京大・農, 3神戸大院・農)</p>				<p>3pE06 ㊦ Relationship between the plant cell wall and the symbiotic microbes in the infection process, focusing on <i>COBRA</i> genes in <i>Lotus japonicus</i> Daniela Romero Montero, Akira Akamatsu, Naoya Takeda (Kwansei Gakuin University)</p>
15:00	<p>3pA07 光合成酸素発生系における脂肪酸アミノ酸の翻訳後変換によるカルボキシラート配位子形成 水江初音¹, 鈴木健裕², 松原巧¹, 北島(井原)智美¹, 平野美奈子¹, 嶋田友一郎¹, 加藤祐樹¹, 堂前直², 野口巧¹ (1名大・院理, 2理研 CSRS)</p>				<p>3pE07 根粒菌感染におけるシス-トランス異性化酵素シクロフィリンの役割 後藤崇支¹, 川原田泰之², 川口正代司^{1,3} (1基礎生物学研究所, 2岩手大学, 3総合研究大学院大学)</p>

F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
花成/時計		発生・形態形成				
<p>3pF01 陸上植物の光周期依存的な成長相転換機構の進化 吉竹良洋¹, 川村昇吾¹, 梶原智明¹, 西浜竜一^{1,2}, 山岡尚平¹, 河内孝之¹(¹京大・院生命,²東京理科大・創域理工・生命生物)</p> <p>3pF02 概日時計と開花を結び付けてアサガオを朝に咲かせる遺伝子の探索 中川颯也^{1,2}, 西出浩世¹, 田中幸子¹, 星野敦^{1,2}(¹基生研,²総研大・生命科学)</p> <p>3pF03 E Decoding Circadian Clock Genes In Chrysanthemums For Heat-Resilient Flowering Kavya Javanthan¹, SharathKumar Malleshaiah^{2,3}, Tamotsu Hisamatsu⁴, Yohei Higuchi¹(¹GSALS, The University of Tokyo, Japan, ²HPP Wageningen University and Research, The Netherlands, ³Deiflor Chrysanthemum B.V, The Netherlands, ⁴Institute of Vegetable and Floriculture Science, NARO, Japan)</p> <p>3pF04 温度に抵抗した周期長維持には PRR5 と TOC1 の量的制御が重要である 前田明里, 松尾宏美, 村中智明, 中道範人(名古屋大・院生命農)</p> <p>3pF05 E Circadian and environmental signal integration in a natural population of <i>Arabidopsis</i> Haruki Nishio^{1,2}, Dora L. Cano-Ramirez^{3,4}, Tomoaki Muranaka⁵, Luiza Lane de Barros Dantas⁶, Mie N. Honjo¹, Jiro Sugisaka¹, Hiroshi Kudoh¹, Antony N. Dodd⁶(¹CER, Kyoto Univ., ²DS Center, Shiga Univ., ³SL, Univ. Cambridge, ⁴Sch. Biol. Sci., Univ. Bristol, ⁵Grad. Sch. Bioagri. Sci., Nagoya Univ., ⁶Dep. Cell Dev. Biol., John Innes Centre)</p> <p>3pF06 ウキクサの発光レポーター活性にみられる非細胞自律的リズム成分の定式化と発光概日リズム解析への適用 堀川遼¹, 渡邊絵美理², 羅迪¹, 伊藤照悟¹, 小山時隆¹(¹京都大・院理学,²東京大・院新領域創成科学)</p> <p>3pF07 シロイヌナズナ <i>FT</i> 遺伝子の発現制御に関わる <i>cis-element</i> 解析 大野奈津美¹, 三木葉², 山本真結香², 吉田晟人², 根岸克弥³, 遠藤真咲⁴, 小林正樹⁵, 小林括平¹, 土岐精一^{4,6,7,8}, 阿部光知⁹, 賀屋秀隆¹(¹愛媛大・院農,²愛媛大・農,³農研機構・果茶研,⁴農研機構・生物研,⁵国際農林水産業研究センター・林業領域,⁶龍谷大学・農学部・植物生命,⁷横浜市大・生命ナノ,⁸横浜市大・木原生研,⁹東京大学大学院・総合文化)</p>		<p>3pH01 キクタニギクの葉の形態の遺伝学的解析 豊倉浩一¹, 藤田悠大¹, 中野道治^{1,2}, 小塚俊明^{1,3}, 有賀悠貴¹, 谷口研至¹, 草場信¹(¹広島大・院統合生命,²高知大・農海,³金沢大・理工学・COI-NEXT)</p> <p>3pH02 シロイヌナズナ HOOKLESS1 は非細胞自律的に葉老化を制御する 信澤岳, 草場信(広島大・院統合生命)</p> <p>3pH03 E ATML1 Transcription Factor Regulates the Leaf ER Body Formation in Large Pavement Cells Alwine Wilkens¹, Mohamadreza Mirzaei^{1,2}, Kenji Yamada¹(¹Malopolska Cent. Biotec., Jagiellonian Univ., ²Doct. Sch. Exact Nat. Sci., Jagiellonian Univ.)</p> <p>3pH04 E Submergence-Induced Epidermal Cell Chloroplasts Differentiation in <i>Rorippa Aquatica</i> Dwi Fajar Sidhiq¹, Shuka Ikematsu^{2,3}, Seisuke Kimura^{2,3}(¹Grad. Sch. Life Sci., Kyoto Sangyo Univ., ²Fac. Life Sci., Kyoto Sangyo Univ., ³Center for Plant Sci., Kyoto Sangyo Univ.)</p> <p>3pH05 アメリカナシカズラの発芽と芽生えの成長に対する外的環境条件について 長尾幸紀¹, 高橋卓¹, 横山隆亮²(¹岡山大・院・環境生命自然科学,²東北大・院・生命科学)</p> <p>3pH06 シロイヌナズナ TCP 転写因子から細胞伸長に至る情報伝達経路の解析 小山知嗣¹, 光田展隆², 関原明³, 高橋宏二^{4,5}, 木下俊則^{4,5}, 別所歩武⁶, 國枝正^{6,7}, 出村拓^{6,7}, 高木優⁸(¹(公財)サントリー生命科学財団・生物有機科学研究所,²産業技術総合研究所・生物プロセス研究部門,³理化学研究所・環境資源科学研究センター,⁴名古屋大学大学院・理学研究科,⁵名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所,⁶奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス領域,⁷奈良先端科学技術大学院大学・デジタルグリーンイノベーションセンター,⁸埼玉大学大学院・理工学研究科)</p> <p>3pH07 <i>Amborella trichopoda</i> とシロイヌナズナのトランスクリプトーム/ゲノムデータを用いた被子植物の葉の獲得に関する進化発生学的研究 中山北斗, 塚谷裕一(東大・院・理)</p>		<p>シンポジウム10 Multilayered Regulation of Plastid and Mitochondrial genomes and gene expression (13:30-16:30)</p>		<p>13:30</p> <p>13:45</p> <p>14:00</p> <p>14:15</p> <p>14:30</p> <p>14:45</p> <p>15:00</p>

E = 発表の言語は英語

● 第3日 3月19日(火) 午後(13:30-16:30)

時間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
	光合成				植物生物間相互作用B
15:15	3pA08 緑色硫黄細菌 <i>Chlorobaculum tepidum</i> における鉄硫黄クラスター F_x を欠いた光合成反応中心複合体の作製 稲垣知実 ¹ , 小島由江 ² , 寺内一姫 ¹ , 浅井智広 ² (1立命館大学大学院生命科学研究所, 2中央大学大学院理工学研究科)				3pE08 ミヤコグサ根粒共生系における <i>Mesorhizobium loti</i> のシステイニル tRNA 合成酵素の役割 稲留光彦 ¹ , 生田愛珠佳 ¹ , 野村美加 ¹ , 内海俊樹 ² (1香川大・農, 2鹿児島大・院理工)
15:30					3pE09 系統学的保存性を考慮したシスエレメントのゲノムワイドサーチによる新奇 CYCLOPS 被制御因子の探索 山崎明広, Kai Battenberg, 林誠(理研)
15:45					3pE10 ミヤコグサ根粒過剰着生株のシュートにみられるスクロース輸送体遺伝子の発現低下 川出健介 ¹ , 大熊直生 ² , 川口正代司 ^{3,4} (1埼玉大・院理工, 2理研BRC, 3基生研・共生システム, 4総研大・生命科学)
16:00					3pE11 根粒の数を制御する HAR1 受容体による非共生条件下での窒素代謝の制御 大熊直生 ¹ , 杉浦大輔 ² , 寺島一郎 ³ , 川口正代司 ^{4,5} (1理研BRC, 2名古屋大・院・生命科学, 3東京大・院理・生物科学, 4基生研, 5総研大)
16:15					

F 会場	G 会場	H 会場	X 会場	Y 会場	Z 会場	時間
花成/時計		発生・形態形成				
<p>3pF08 低温環境はアブシシン酸シグナリングを介して茎頂における FT 輸送の抑制にはたらく 村田裕介, 阿部光知(東大・院総合文化)</p> <p>3pF09 ㊦ Characteristics of <i>FLOWERING LOCUS T</i>-expressing phloem companion cells at single-cell resolution Hiroshi Takagi^{1,2}, Takato Imaizumi^{1,2} (¹Department of Biology, University of Washington, ²Center for Gene Research, Nagoya University)</p> <p>3pF10 花成制御機構の解明にむけたフロリゲン活性化複合体の液-液相分離解析 榎本麻由¹, 安澤すあい¹, 小泉優香¹, 吉板恭子², 田岡健一郎^{3,4}, 西田敬二⁴, 近藤昭彦⁴, 児玉高志², 藤原敏道², 辻寛之^{3,5}, 児嶋長次郎^{1,2}(¹横浜国大・院理, ²阪大・蛋白質研, ³横浜市大・木原生研, ⁴神大・先端バイオ工学研究センター, ⁵名大・生物機能開発利用研究センター)</p>		<p>3pH08 イネの節間の運命決定はファイトマー器官の中で最後に起こる 津田勝利^{1,2}, 前野哲輝¹, 野々村賢一^{1,2}(¹国立遺伝学研究所, ²総研大)</p> <p>3pH09 ㊦ Roles of a Conserved Peptide Signaling Module in Thallus Development in the liverwort <i>Marchantia polymorpha</i> Chihiro Furumizu¹, Hidefumi Shinohara², Mio Sasaki³, Shinichiro Sawa⁴(¹N-BARD, Hiroshima Univ., ²Dept. Biosci. Biotech., Fukui Pref. Univ., ³Sch. Eng., Hiroshima Univ., ⁴IRCAEB, Kumamoto Univ.)</p> <p>3pH10 GCAM1 の標的遺伝子 <i>GROM</i> はゼニゴケの杯状体形成だけでなく生殖器官の発生も制御する 加藤大貴^{1,2}, 安居佑季子^{1,3}, 近藤侑貴¹, 深城英弘¹, 三村徹郎^{1,4}, 石崎公庸¹(¹神戸大・院・理, ²愛媛大・院・理工, ³京大・院・生命, ⁴京大先端科学大・バイオ環境)</p> <p>3pH11 雌雄同株アカゼニゴケと雌雄異株ゼニゴケのゲノム比較による性染色体進化の解析 安居佑季子¹, Giacomo Potente², 下川瑛太¹, 梅谷結佳¹, 田中知葉¹, 川村昇吾¹, 大和勝幸³, 山口勝司⁴, 重信秀治⁴, 嶋村正樹⁵, Péter Szövényi², 河内孝之¹(¹京都大・院・生命科学, ²チューリッヒ大・Systematic and Evolutionary Botany, ³近畿大・生物理工, ⁴基生研・トランスオミクス解析室, ⁵広島大・院・統合生命科学)</p> <p>3pH12 雌雄同株の苔類アカゼニゴケにおける季節特異的な性分化機構の解析 田中知葉¹, 下川瑛太¹, 井上慎子¹, 嶋村正樹², 河内孝之¹, 安居佑季子¹(¹京都大・院・生命科学, ²広島大・院・統合生命科学)</p>		<p>シンポジウム100 Multilayered Regulation of Plastid and Mitochondrial genomes and gene expression (13:30-16:30)</p>	<p>15:15</p> <p>15:30</p> <p>15:45</p> <p>16:00</p> <p>16:15</p>	

㊦ = 発表の言語は英語

一般講演・口頭発表 座長一覧

1日目 3月17日(日) 午前

1aA01-1aA11 光合成 寺島 一郎
神保 晴彦
嶋川 銀河

1aB01-1aB12 環境応答 A/生理反応 吉田 聡子
高木 大輔
楠見 健介

1aC01-1aC12 オルガネラ / 細胞骨格 小林 優介
稲葉 靖子
中野 雄司

1aD01-1aD10 新技術開発 佐藤 輝
木下 俊則
三木 大介

1aE01-1aE12 システム生物学 田中 謙也
田村 啓太
八木 宏樹

1aF01-1aF12 環境応答 B/環境ストレス 野口 航
上田 実
小川 貴央

1aG01-1aG12 一次代謝 門田 慧奈
眞木 美帆
高谷 信之

1aH01-1aH12 発生・形態形成 古水 千尋
平川 有宇樹
中山 北斗

1日目 3月17日(日) 午後

1pA01-1pA11 光合成 増田 真二
山本 治樹
日原 由香子

1pB01-1pB07 環境応答 A/生理反応 高橋 洋平
青木 考

1pC01-1pC12 オルガネラ / 細胞骨格 貴嶋 紗久
中村 匡良
高塚 大知

1pD01-1pD12 生殖 養老 瑛美子
笠原 竜四郎
須崎 大地

1pE01-1pE11 植物生物間相互作用 A 山田 晃嗣
登 達也
河野 洋治

1pF01-1pF12 環境応答 B/環境ストレス 吉本 光希
坂田 洋一
藤田 美紀

1pG01-1pG11 一次代謝 / 特化(二次)代謝 / 植物ホルモン / シグナル伝達物質 棟方 涼介
浅岡 真理子
草野 都

1pH01-1pH12 発生・形態形成 石田 喬志
四方 明格
郷 達明

2日目 3月18日(月) 午前

2aA01-2aA11 光合成 加藤 祐樹
桶川 友季
宗景 ゆり

2aB01-2aB07 植物ホルモン / シグナル伝達物質 朝比奈 雅志
青山 剛士

2aC01-2aC12 オルガネラ / 細胞骨格 / 膜交通 伊藤 瑛海
泉 正範
高木 純平

2aD01-2aD12 生殖 井上 佳祐
杉 直也
木下 温子

2aE01-2aE11 植物生物間相互作用 A 安田 盛貴
津島 綾子
大津 美奈

2aF01-2aF11 環境応答 B/環境ストレス 塩野 克宏
山本 義治
太治 輝昭

2aG01-2aG12 特化(二次)代謝/生体膜・イオン・物質輸送
關 光
杉山 龍介
松岡 健

2aH01-2aH11 発生・形態形成
加藤 大貴
中川 彩美
木全 祐資

2aX01-2aX10 ゲノム機能・遺伝子発現制御
大谷 美沙都
竹中 瑞樹
福原 敏行

3日目 3月19日(火) 午前

3aA01-3aA11 光合成
伊福 健太郎
西山 佳孝
園池 公毅

3aB01-3aB12 植物ホルモン/シグナル伝達物質
土屋 雄一朗
山上 あゆみ
下遠野 明恵

3aC01-3aC12 細胞壁
高橋 大輔
國枝 正
Marcel Beier

3aD01-3aD08 細胞周期・分裂
酒井 友希
笹部 美知子
水多 陽子

3aE01-3aE12 植物生物間相互作用 B
高木 桃子
杉本 貢一
平田 梨佳子

3aF01-3aF12 光受容体/光応答
末次 憲之
武宮 淳史
吉原 静恵

3aG01-3aG12 生体膜・イオン・物質輸送
和崎 淳
山地 直樹
丸山 明子

3aH01-3aH12 発生・形態形成
藤田 知道
安居 佑季子
槻木 竜二

3aX01-3aX10 ゲノム機能・遺伝子発現制御
高橋 卓
藤田 祐一
土屋 徳司

3日目 3月19日(火) 午後

3pA01-3pA08 光合成
高林 厚史
瀬尾 倂介

3pE01-3pE11 植物生物間相互作用 B
川原田 泰之
山崎 明広
前田 太郎

3pF01-3pF10 花成/時計
高木 紘
吉竹 良洋
西尾 治幾

3pH01-3pH12 発生・形態形成
小山 知嗣
高田 忍
水谷 未耶